

UC3022

日本語版ユーザーマニュアル



本ドキュメントについて

本書は ATEN ジャパン株式会社において、UC3022 取り扱いの便宜を図るため、英語版ユーザーマニュアルをローカライズしたドキュメントです。

製品情報、仕様はソフトウェア・ハードウェアを含め、予告無く変更されることがあり、本日本語版ユーザーマニュアルの内容は、必ずしも最新の内容でない場合があります。また製品の不要輻射仕様、各種安全規格、含有物質についての表示も便宜的に翻訳して記載していますが、本書はその内容について保証するものではありません。

製品をお使いになるときは、英語版ユーザーマニュアルにも目を通し、その取扱方法に従い、正しく運用を行ってください。詳細な製品仕様については英語版ユーザーマニュアルの他、製品をお買い上げになった販売店または弊社テクニカルサポート窓口までお問い合わせください。

ATEN ジャパン株式会社

技術部

TEL :03-5615-5811

MAIL :support@atenjapan.jp

2020 年 2 月 26 日

ユーザーの皆様へ

本マニュアルに記載された全ての情報、ドキュメンテーション、および製品仕様は、製造元である ATEN International により、予告無く変更されることがあります。製造元 ATEN International は、製品および本ドキュメントに関して、品質・機能・商品性および特定の目的に対する適合性について、法定上の、明示的または黙示的であるかを問わず、いかなる保証もいたしません。

弊社製品は一般的なコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。高度な動作信頼性と安全性が求められる用途、例えば軍事使用、大規模輸送システムや交通インフラの制御、原子力発電所、セキュリティシステム、放送システム、医療システム等における可用性への要求を必ずしも満たすものではございません。

キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。

本製品および付属のソフトウェア、ドキュメントの使用によって発生した装置の破損・データの損失等の損害に関して、直接的・間接的・特殊な事例・付帯的または必然的であるかを問わず、弊社の損害賠償責任は本製品の代金相当額を超えないものとします。

製品をお使いになる際には、製品仕様に沿った適切な環境、特に電源仕様についてはご注意のうえ、正しくお使いください。

ATEN ジャパン製品保証規定

弊社の規定する標準製品保証は、定められた期間内に発生した製品の不具合に対して、すべてを無条件で保証するものではありません。製品保証を受けるためには、この『製品保証規定』およびユーザーマニュアルをお読みになり、記載された使用法および使用上の各種注意をお守りください。

また製品保証期間内であっても、次に挙げる例に該当する場合は製品保証の適用外となり、有償による修理対応といたしますのでご注意ください。

- ◆ 使用上の誤りによるもの
- ◆ 製品ご購入後の輸送中に発生した事故等によるもの
- ◆ ユーザーの手による修理または故意の改造が加えられたもの
- ◆ 購入日の証明ができず、製品に貼付されている銘板のシリアルナンバーも確認できないもの
- ◆ 車両、船舶、鉄道、航空機などに搭載されたもの
- ◆ 火災、地震、水害、落雷、その他天変地異、公害、戦争、テロリズム等の予期しない災害によって故障、破損したもの
- ◆ 日本国外で使用されたもの
- ◆ 日本国外で購入されたもの

【製品保証手順】

弊社の製品保証規定に従いユーザーが保証を申請する場合は、大変お手数ですが、以下の手順に従って弊社宛に連絡を行ってください。

(1) 不具合の確認

製品に不具合の疑いが発見された場合は、購入した販売店または弊社サポート窓口にご連絡の上、製品の状態を確認してください。この際、不具合の確認のため動作検証のご協力をお願いすることがあります。

(2) 本規定に基づく製品保証のご依頼

(1)に従い確認した結果、製品に不具合が認められた場合は、本規定に基づき製品保証対応を行います。製品保証対応のご依頼をされる場合は、RMA 申請フォームの必要項目にご記入の上、『お客様の製品購入日が証明できる書類』を用意して、購入した販売店までご連絡ください。販売店が不明な場合は、弊社までお問い合わせください。

(3) 製品の発送

不具合製品の発送は宅配便などの送付状の控えが残る方法で送付してください。

【製品保証期間】

製品保証期間は通常製品/液晶ディスプレイ搭載製品で異なります。詳細は下記をご覧ください。

①通常製品	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～3年間	無償修理
	3年以上	有償修理※2
②型番 CL からはじまる LCD 搭載製品のみ	製品納品日～30日	初期不良、新品交換※1
	31日～2年間	無償修理
	3年目以降	有償修理※2

※1…製品購入日から30日以内に確認された不具合は初期不良とし、新品交換を行います。初期不良の場合の送料は往復弊社にて負担いたします。

※2…有償修理の金額は別途製品を購入された販売店までお問い合わせください。

※ケーブル類、その他レールキット等のアクセサリ類は初期不良の際の新品交換のみ、承ります。

※EOL (生産終了)が確定した製品については、初期不良であっても無償修理対応とさせていただきます。また EOL 製品の修理に関して、上記無償修理期間中であっても、部材調達の都合等により修理不可になる可能性がございます。そのような場合には、機能同等品による良品交換のご対応となる可能性がございます。また、EOL 製品の型番や、修理可否、後継機種については、随時情報更新を行っておりますので、弊社 Web ページにて最新情報をご確認ください。

※製品保証期間の延長や故障時の代替品などの保証オプションについては、弊社 Web ページをご確認ください。

【補足】

- ・本規定は ATEN 製品に限り適用します。
- ・ケーブル類は初期不良対応に準じます。
- ・初期不良による新品交換の場合は、ATEN より発送した代替品の到着後、5 営業日以内に不具合品を弊社宛に返却してください。返却の予定期日が守られない場合は弊社から督促を行いますが、それにも関わらず不具合品が返却されない場合は、代替機相当金を販売代理店経由でご請求いたします。
- ・ラベルの汚損や剥がれなどにより製品のシリアルナンバーが確認できない場合は、すべて有償修理とさせていただきます。

【免責事項】

1. 弊社製品は映像関連システムやコンピューターのメインフレームおよびインターフェースの操作・運用・管理を目的として設計・製造されております。しかし、使用環境等によってはその機能が制限されることがあります。弊社では、ご購入前に弊社製品をお試しいただける「評価機貸出サービス」を、無償でご提供しております。評価機貸出サービスに関するお問い合わせは、弊社代理店または弊社 Web サイト(<https://www.aten.com/jp/ja/>)内の「お問い合わせ」フォームをご利用ください。
2. キーボード、マウス、モニター、コンピューター等、弊社製品に接続されるクライアントデバイスは、それぞれベンダの独自技術によって開発・製造されております。そのため、これらの異なるデバイスを接続した結果、予期できない機器同士の相性問題が発生する可能性があります。また、機器の併用により、それぞれオリジナルで持つ機能を全て発揮できない可能性があります。異なる環境・異なる機器の組み合わせにより、機能面での使用制限が必要になる可能性があります。
3. 他社製品のKVMスイッチ、キーボード・マウスコンバーター、キーボード・マウスエミュレーター、KVM エクステンダー等との組み合わせはサポート対象外となりますが、お客様で自己検証の上であれば、使用を制限するものではありません。
4. 製品に対しての保証は、日本国内で使用されている場合のみ対象とさせていただきます。
5. 製品やサービスについてご不明な点がある場合は、弊社技術部門までお問い合わせください。

製品についてのお問い合わせ

製品の仕様や使い方についてのお問い合わせは、下記窓口または製品をお買い上げになった販売店までご連絡ください。

購入前のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 営業部 TEL:03-5615-5810 MAIL:sales@atenjapan.jp
購入後のお問い合わせ	ATEN ジャパン株式会社 技術部 TEL :03-5615-5811 MAIL :support@atenjapan.jp

目次

ユーザーの皆様へ	i
ATEN ジャパン製品保証規定.....	ii
製品についてのお問い合わせ.....	v
EMC に関する情報.....	3
RoHS	4
安全にお使い頂くために	7
全般.....	7
同梱品	9
本マニュアルについて.....	10
マニュアル表記について	11
第 1 章 はじめに.....	12
概要.....	12
特長.....	14
セットアップの計画.....	14
システム要件	14
サポートされる OS とシステム要件.....	15
製品各部名称	16
フロントパネル	16
リアパネル.....	18
第 2 章 ハードウェアのセットアップ	19
カメラマウントアダプターの取付.....	19
オプションのラックマウント方法.....	19
UC3022 本体の接続	20
ATEN OnAir アプリ.....	22
フォン・トレー	23
ソフトウェア	24
PC	24
Android スマートフォン	24
第 3 章 ライブ配信/録画の設定.....	25
ライブ配信/録画用プラットフォーム.....	25
システムにおける UC3022 の検出方法.....	25
Mac OS の場合	26

Windows の場合.....	28
ビデオとオーディオの設定	30
USB ケーブルの使用	35
HDCP 切替.....	37
UC3022 のリセット.....	38
第 4 章 ATEN OnAir Lite アプリ	39
ATEN OnAir Lite アプリ	39
サポートされるモバイル OS	39
UC3022 のセットアップ	39
モバイルデバイスから UC3022 に接続するには.....	40
モバイルデバイスと UC3022 の接続を切断するには.....	42
画面各部名称	43
プロジェクトの設定.....	44
システム情報タブ	44
ビデオミキサー	45
シーンエディター.....	47
リサイズ/トリミングツール.....	49
ホットキーのマッピング	52
オーディオミキサー	54
設定パネル	57
クロマキー.....	57
自動切替.....	59
詳細.....	60
ATEN OnAir Lite アプリにおける工場出荷時のデフォルト設定.....	62
第 5 章 ファームウェアアップグレード ユーティリティ	64
概要.....	64
ファームウェアアップグレードパッケージのダウンロード	64
事前準備	65
アップグレードの開始.....	66
アップグレードの成功.....	68
アップグレードの失敗.....	69
付録.....	70
製品仕様.....	70

EMC に関する情報

FCC(連邦通信委員会)電波干渉声明

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠したデジタル装置 Class B の制限事項を満たして設計され、検査されています。この制限事項は、本装置が一般家庭内で取り付けられたときに、有害な電波干渉が発生するのを防ぐために設計されています。無断で本装置を変更または改良した場合は、ユーザーの本装置を操作する権利は無効とみなされます。また、本装置は高周波エネルギーを使用し、発生させることがあります。この操作マニュアルに従わずに本装置を取り付け、使用した場合、電波通信に有害な障害を起こすことがあります。但し、定められた取り付け方法に従えば、必ず電波障害が起こらないと保証するものでもありません。

本製品は、FCC(米国連邦通信委員会)規則の Part15 に準拠しています。動作は次の 2 つの条件を前提としています。(1)このデバイスが有害な干渉を引き起こさないこと、(2)このデバイスが、予想外の動作を引き起こす可能性のある干渉を含め、すべての干渉を受け入れなければならないこと。

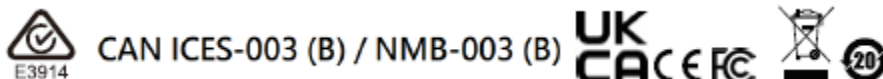
本装置がラジオまたはテレビの電波受信に有害な障害となっているかどうかは、本装置の電源を入れたり、消したりして、確認してください。また、以下のひとつまたは複数の方法に従って、電波障害の状況を改善されることを推奨いたします。

- ◆ 受信アンテナの向きを変えるか、位置を変えてください。
- ◆ 本装置と受信機の距離を離してください。
- ◆ 本装置は、受信機が接続されているアウトレットとは別の電気回路につながったアウトレットに接続するようにしてください。
- ◆ 販売店または、十分な経験を有するラジオ/テレビの技術者にお問い合わせください。

FCC による注意:本コンプライアンスに対する責任者による明確な承認を得ていない変更または改良を行った場合は、ユーザーの本装置を操作する権利を無効とします。

RoHS

本製品は『電気・電子機器に含まれる特定有害物質の使用制限に関する欧州議会及び理事会指令』、通称 RoHS 指令に準拠しております。



欧州における周波数および最大 EIRP 電力は次のとおりです。
2402MHz～2480MHz:0.32dBm

コンプライアンスに責任を負う団体によって明示的に承認されていない変更や改造を加えた場合、ユーザーによる機器操作の権限が無効になる場合があります。

FCC RF 被曝ステートメント:

1. 本トランスミッターは、他のアンテナやトランスミッターと同じ場所に配置したり、これらの機器と組み合わせて使ったりしないでください。
2. 本装置は、制御されていない環境に対して規定された FCC 被曝制限に準拠しています。本装置は、放射線源および人体から 20cm 以上離れた場所に設置し、操作するようにしてください。

被曝ステートメント:本装置は、制御されていない環境に対して規定された IC 被曝制限に準拠しています。本装置は、放射線源および人体から 20cm 以上離れた場所に設置し、操作するようにしてください。

本装置は、電気アンテナおよび人体から 20cm 以上離れた場所に設置し、操作するようにしてください。



ユーザーへの警告:NCC 低出力電磁放射性モーター管理規定では次のように定められています。

第十二条 バージョン認証に合格した低電力無線周波数モーターについて、ライセンスを受けない会社、商店、またはユーザーは、許可なく周波数を変更したり、電力を追加したり、元の設計の特性や機能を変更したりしてはならない。

第十四条 低出力無線周波数モーターの使用は、飛行の安全に影響を与えたり、合法的な通信を妨害したりしてはならない。干渉が発覚した場合は、直ちに使用を中止し、干渉しないよう改善してから使用を継続すること。前項に規定する合法的な通信とは、電気通信法の規定に基づいて行われる無線通信を指す。低電力無線周波数モーターは、合法的な通信、または産業用、科学用、医療用の電磁放射性モーター設備の干渉に耐えうる必要がある。

デバイス名	デュアル HDMI→USB-C UVC ビデオ キャプチャーPro (AV ミキサー機能搭載)				型番	UC3022
単位	制限物質およびその化学記号					
	鉛 (Pb)	水銀 (Hg)	カドミウム (Cd)	六価クロム (Cr ⁺⁶)	ポリ臭化 ビフェニル (PBB)	ポリ臭化 ジフェニル エーテル (PBDE)
ケーブル	-	○	○	○	○	○
PCBA	-	○	○	○	○	○
プラスチック/ その他のパーツ	○	○	○	○	○	○
金属パーツ	-	○	○	○	○	○
備考 1	「0.1 wt% 超過」および「0.01 wt% 超過」は、その制限物質の含有率が、疾病を引き起こすと見られる基準の参考値を超えていることを表しています。					
備考 2	「○」は、その制限物質の含有率が、疾病を引き起こすと見られる基準の参考値を超えていないことを表しています。					
備考 3	「-」は、その制限物質が除外されていることを表しています。					

製造元 : ATEN International Co.,Ltd.

所在地 : 3F, 125, Sec.2, Da-Tung Rd., Si-Jhih, Taipei, Taiwan221, R.O.C.

最大操作環境温度 : 40℃

最大定格電圧 : DC 5V



D33866
RoHS

安全にお使い頂くために

全般

- ◆ 本製品は、屋内での使用に限ります。
- ◆ 製品に同梱されるドキュメントは全てお読みください。またドキュメント類は全て保存してください。また、弊社 Web サイトに掲載のオンラインユーザーマニュアルもご確認ください。
- ◆ 製品に関する注意・説明に従って取り扱ってください。
- ◆ 落下による事故・製品の破損を防ぐため、設置場所は不安定な面(台車、簡易的なスタンドやテーブル等)を避けるようにしてください。
- ◆ 製品が水に濡れるおそれのあるような場所で使用しないでください。
- ◆ 製品は熱源の近く、またはその熱源の上などで使用しないでください。
- ◆ 製品のケースには必要に応じて通気口が設けられています。通気口のある製品は、安定した運用を行うため、また製品の過熱を防ぐために、開口部を塞いだり覆ったりしないでください。
- ◆ 製品をベッドやソファ、ラグなどの柔らかいものの上に置かないでください。開口部が塞がれ、適切な通気が確保できずに製品が過熱するおそれがあります。
- ◆ 製品にいかなる液体もかからないようにしてください。
- ◆ 電源プラグを電源コンセントから抜く場合は、乾いた雑巾でプラグ周りのホコリを掃除してください。液体やスプレー式のクリーナーは使用しないでください。
- ◆ 製品はラベルに記載されたタイプの電源に接続して運用してください。電源タイプについて不明な場合は、購入された販売店もしくは電気事業者にお問い合わせください。
- ◆ お使いの装置への損傷を避けるためにも、すべての装置を適切に接地するようにしてください。
- ◆ 電源コードやケーブルの上に物を置かないでください。人が通行するような場所を避けて電源コードを設置してください。
- ◆ 危険な電源ポイントへの接触やショートによって、発火したり感電したりするおそれがありますので、キャビネットの空きスロット等に押し込まないようにしてください。
- ◆ 装置をご自身で修理せず、ご不明な点がございましたら技術サポートまでご相談ください。
- ◆ 下記の現象が発生した場合、コンセントからはずして技術サポートに修理を依頼してください。
 - 電源コードが破損した。
 - 装置の上に液体をこぼした。
 - 装置が雨や水にぬれた。
 - 装置を誤って落下させた、ないしはキャビネットが破損した。
 - 装置の動作に異変が見られる。(修理が必要です)

- 製品マニュアルに従って操作しているにもかかわらず、正常に動作しない。
- ◆ 修理が必要となる故障が発生するおそれがありますので、製品マニュアルに従って操作してください。

同梱品

UC3022 製品パッケージには下記のアイテムが同梱されています。

- ◆ UC3022 デュアル HDMI→USB-C UVC ビデオキャプチャーPro (AV ミキサー機能搭載)
×1
- ◆ USB-B→USB-C ケーブル ×1
- ◆ USB-B→USB-A ケーブル ×1
- ◆ 電源アダプター ×1
- ◆ カメラマウントアダプターキット ×1
- ◆ クイックスタートガイド* ×1

上記のアイテムがそろっているかご確認ください。万が一、欠品または破損品があった場合はお買い上げになった販売店までご連絡ください。

本ユーザーマニュアルをよくお読みいただき、正しい使用方法により、本製品および接続する機器を安全にお使いください。

※本製品を使用する際に MJPEG ビデオしか検出されない場合は、ホストに接続している USB-B→USB-C ケーブルを取り外し、接続するコネクタを逆向きにして USB-C コネクタをホストに接続してください。詳細は p.35「USB ケーブルの使用」を参照してください。

* 本マニュアルの公開後に、製品仕様が追加される場合があります。最新版は弊社 Web サイトにアクセスしてご確認ください。

本マニュアルについて

このユーザーマニュアルは、UC3022 に関する情報や使用法について説明しており、取り付け・セットアップ方法、操作方法のすべてを提供します。マニュアルは下記のとおり構成されています。

第1章 はじめに:デュアル HDMI→USB-C UVC ビデオキャプチャーPro を紹介します。特長、機能概要、セットアップに関する注意事項、および製品各部名称について説明します。

第2章 ハードウェアのセットアップ:製品を手早くかつ安全にセットアップする手順について説明します。

第3章 ライブ配信/録画の設定:お使いのシステムにおける UC3022 の検出方法、および A/V ソースのセットアップ方法について、ライブ配信/録画用のソフトウェア/プラットフォームの例を交えながら説明します。

第4章 ATEN OnAir Lite アプリ:UC3022 の OnAir Lite アプリのダウンロードと設定の各方法について説明します。

第5章 ファームウェアアップグレードユーティリティ:UC3022 のファームウェアのダウンロード、およびユーティリティを使ったアップグレードの各方法について説明します。

付録 安全指示と注意事項、ATEN 技術サポート情報、製品仕様、およびその他の技術情報の一覧が記載されています。

注意: 製品本体や、接続機器に対して損傷を与えないように、必ず、本マニュアルに記載されている内容に従ってセットアップや操作を行うようにしてください。ATEN では新規仕様を反映させたファームウェアや関連ドキュメントを定期的に Web サイトに公開しています。最新の UC3022 マニュアルについては、<https://www.aten.com/jp/ja/>を参照してください。

マニュアル表記について

[]

入力するキーを示します。例えば[Enter]はエンターキーを押します。複数のキーを同時に押す場合は、[Ctrl] + [Alt]のように表記してあります。またホットキー操作のようにキーを連続して押す場合は、[Ctrl] , [Alt] , [Shift]のようにコンマ(,)を挟んで表記してあります。

1.

番号が付けられている場合は、番号に従って操作を行ってください。

◆

◆印は情報を示しますが、作業の手順を意味するものではありません。

→

矢印は操作の手順を示します。例えばStart → Runはスタートメニューを開き、Runを選択することを意味します。



重要な情報を示しています。

※本マニュアルに記載されている商品名・会社名等は、各社の商標ならびに登録商標です。

第1章 はじめに

概要

UC3022 は、ライブストリーミング用に 2 系統の 4K ビデオソースを接続して、FHD フォーマットキャプチャーやミキシングを簡単に行えるよう設計された製品です。効果的なビデオエフェクトや際立った映像品質を特長とする UC3022 は、HDMI ソースや業務用オーディオデバイスから出力された A/V コンテンツのキャプチャー、エンコード、そして 2ch ビデオのミキシングと切替を 1 台で実現します。本製品は、数ある CDN ビデオの中でも、ひととき注目を集めるライブストリーミング作りをサポートします。UC3022 を使うことで、接続された複数のソースを簡単に切り替え、これらを組み合わせて充実したコンテンツを配信できます。さらに、ソースは 720p または 1080p の USB ビデオフォーマットへと自動変換され、USB 経由でノートパソコンやモバイルデバイスへと送信されます。

UC3022 の「使いやすさ」は、直感的に操作できる ATEN OnAir アプリにも表れています。このアプリは、ビデオストリームをカスタマイズするのに必要なものを、すべて手元に置いておくことができます。また、ビデオの合成、トリミング、スケーリングの各種機能を活用して、印象的なピクチャ・イン・ピクチャのレイアウトを構成することもできます。最大 8 パターンのカスタムシーンをプリセットし、直感的なタッチパネルインターフェースを使ってオーディオソースを管理することで、プロレベルの仕上がりを目指せます。また、クロマキー合成を使うことで、新たな可能性を広げることができます。背景はいかようにも変えられますので、視覚的に印象的なエフェクトを施すことが可能です。

UC3022 を使えば、2 台のカメラを使ったり 1 ユーザーで配信を行ったりする環境でもビデオストリーミング作業がスムーズに行えるため、ユーザーはインターネット上の主要なストリーミングサービス (YouTube Live、Facebook、OBS、Microsoft Teams、Microsoft Mixer、Zoom、CameraFi、Twitch など) に高品質なライブ映像を配信することができます。UC3022 は、PC と Mac の各プラットフォームで、人目を惹く高品質なワンストップ・プログラミング・ストリーミング配信機能を実現します。

キャプチャー、編集、配信のいずれにおいても、柔軟性に優れた UC3022 は、あらゆる独立系ライブストリーミング配信環境にマッチします。コンパクトかつ軽量でありながら、1 台に多機能を

備えた本製品は、あらゆるシーンでの活用に適しており、ライブイベントへの持ち運びにも便利です。この製品と関連アプリ、そしてノートパソコンやモバイルデバイスさえあれば、ソーシャルメディアの有名な動画クリエイターにも引けを取らないライブストリーミングを行うことが十分可能になります。

特長

- ◆ USB 3.x インターフェース経由で接続された PC またはモバイルデバイスから 2 系統の 4K ライブ映像をシームレスに伝送し、1080p UVC フォーマットでミキシング&キャプチャー
- ◆ Andoid/iOS アプリで直感的に操作 - 手持ちのカメラをセットアップすれば、どこからでもライブ配信が可能
- ◆ リアルタイムでの HDMI プログラムビデオプレビューに対応
- ◆ 簡単に識別できるクロマキー - どこにいても背景の入替が簡単
- ◆ デュアルアナログオーディオ入力可能なオーディオミキサーを提供
- ◆ 通常使用時は保護されたビデオ(暗号化済み)の切替モードに対応
- ◆ USB & Thunderbolt 3(USB-C)に互換

セットアップの計画

システム要件

UC3022 のセットアップを行う前に、下記のハードウェアをご用意ください。

- ◆ HDMI ソースデバイス ×2
- ◆ HDMI ディスプレイ ×1
- ◆ XLR オーディオソース ×1
- ◆ RCA オーディオソース ×1
- ◆ モバイルデバイス(Android/iOS) ×1

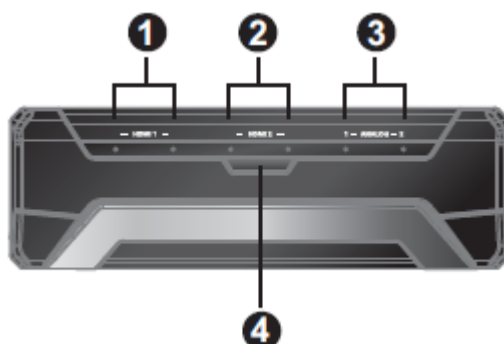
サポートされる OS とシステム要件

OS	最小ハードウェア要件
Windows 7 (Win7_driver インストール済みであること)	CPU: Intel® i3 Dual Core 2.8Ghz 以上 RAM: 4GB 以降
Windows 10 以降	USB-C または USB-A インターフェースを 1 箇所以上搭載していること
OS X 10.13 以降	
Android 5.0.1 以降 (UVC 対応であること)	UVC および USB-C インターフェースを搭載 した Android スマートフォン

注意: Windows 7 をお使いのユーザーは、弊社 Web サイトより Win7_driver をダウンロードし、インストールしてください。ドライバーのダウンロードに関する詳細は、p.64「ファームウェアアップグレードパッケージのダウンロード」を参照してください。

製品各部名称

フロントパネル



No.	名称	説明
1	HDMI 1 ビデオステータス LED	LED がグリーンに点灯している場合、HDMI 1ビデオソースの接続が有効であることを表しています。
	HDMI 1 オーディオステータス LED	LED がグリーンに点灯している場合、HDMI 1 オーディオソースの接続が有効であることを表しています。 LED がオレンジに点灯している場合、HDMI 1 オーディオソースの接続がミュート(消音状態)であることを表しています。
2	HDMI 2 ビデオステータス LED	LED がグリーンに点灯している場合、HDMI 2ビデオソースの接続が有効であることを表しています。
	HDMI 2 オーディオステータス LED	LED がグリーンに点灯している場合、HDMI 2 オーディオソースの接続が有効であることを表しています。 LED がオレンジに点灯している場合、HDMI 2 オーディオソースの接続がミュート(消音状態)であることを表しています。
3	アナログ 1 オーディオステータス LED	LED がグリーンに点灯している場合、アナログ 1 (RCA) オーディオソースの接続が有効であることを表しています。 LED がオレンジに点灯している場合、アナログ 1 (RCA) オーディオソースの接続がミュート(消音状態)であることを表しています。
	アナログ 2 オーディオステータス LED	LED がグリーンに点灯している場合、アナログ 2 (XLR) オーディオソースの接続が有効であることを表しています。 LED がオレンジに点灯している場合、アナログ 2 (XLR) オーディオソースの接続がミュート(消音状態)であることを表しています。

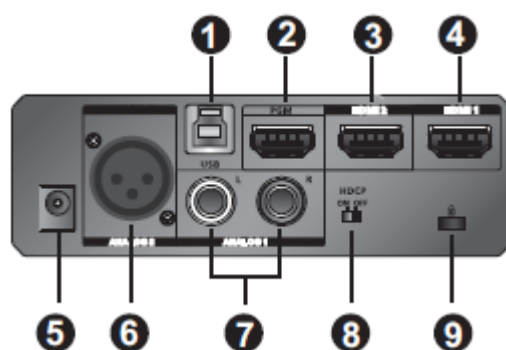
(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
4	Bluetooth リンク ボタン	<p>このボタンを押すと、シーン 1 とシーン 2 のクイック切替を行います。</p> <p>また、このボタンを 3 秒間押し続けると、UC3022 とお使いのモバイルデバイス間における Bluetooth 接続を切断します。</p> <p>このボタンを長押ししたまま UC3022 に電源を入れると、ファームウェアアップグレードを実行します。詳細は p.65「事前準備」を参照してください。</p> <p>このボタンを長押ししたまま UC3022 に電源を入れ、10 秒ほど待機すると、製品本体のリセットを実行します。詳細は p.38「UC3022 のリセット」を参照してください。</p>

注意:

- ◆ すべての LED が同時に点滅している場合、ファームウェアアップグレードが実行中であることを表しています。
- ◆ Bluetooth 接続を切断すると、HDMI 1 と HDMI 2 の各ビデオステータス LED が、0.5 秒間隔で 3 秒間点滅します。

リアパネル



No.	名称	説明
1	USB-B UVC 出力ポート	ホストに接続します。
2	HDMI プログラム出力ポート	プログラミングされた (PGM) ビデオ出力用に HDMI ディスプレイを接続します。
3	HDMI 2 入力ポート	HDMI 入力に接続します。
4	HDMI 1 入力ポート	HDMI 入力に接続します。
5	電源ジャック	電源アダプターを接続します。
6	アナログ 2 入力ポート	XLR オーディオソースを接続します。
7	アナログ 1 入力ポート (L/R)	RCA オーディオソースを接続します。
8	HDCP スイッチ	HDCP 保護されたコンテンツに切り替えて表示します。
9	セキュリティーワイヤー	セキュリティーワイヤーのスロットを接続します。

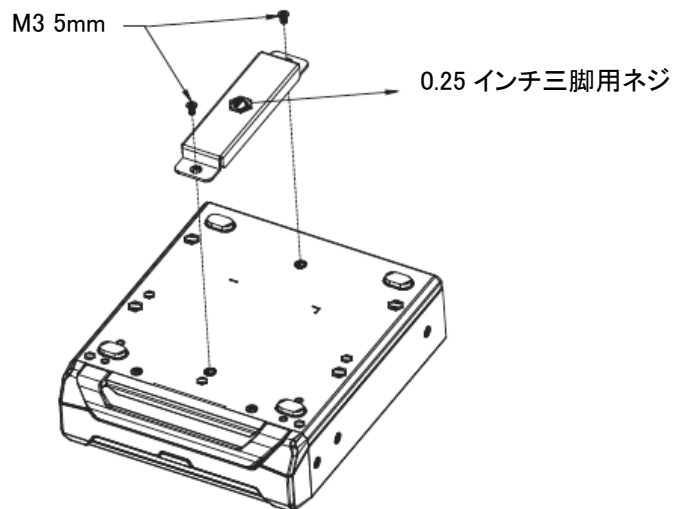
第2章 ハードウェアのセットアップ



機器の設置に際し重要な情報を p.7 に記載しています。作業の前に、必ず目を通してください。

カメラマウントアダプターの取付

カメラマウントアダプターを取り付けるには、キットに付属しているネジを使ってアダプターを UC3022 の底面に固定してください。

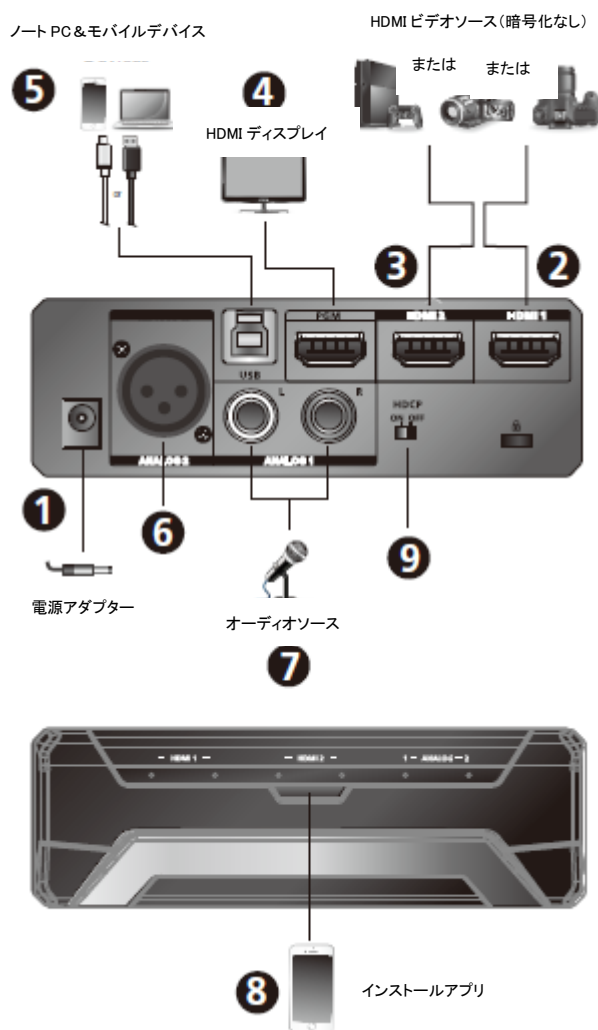


オプションのラックマウント方法

UC3022 は便利かつ柔軟にお使いいただけるよう、Teranex Mini Rack Shelf へのマウントに対応した設計になっております。

UC3022 本体の接続

UC3022 を接続するには、次の手順に従って作業を行ってください。

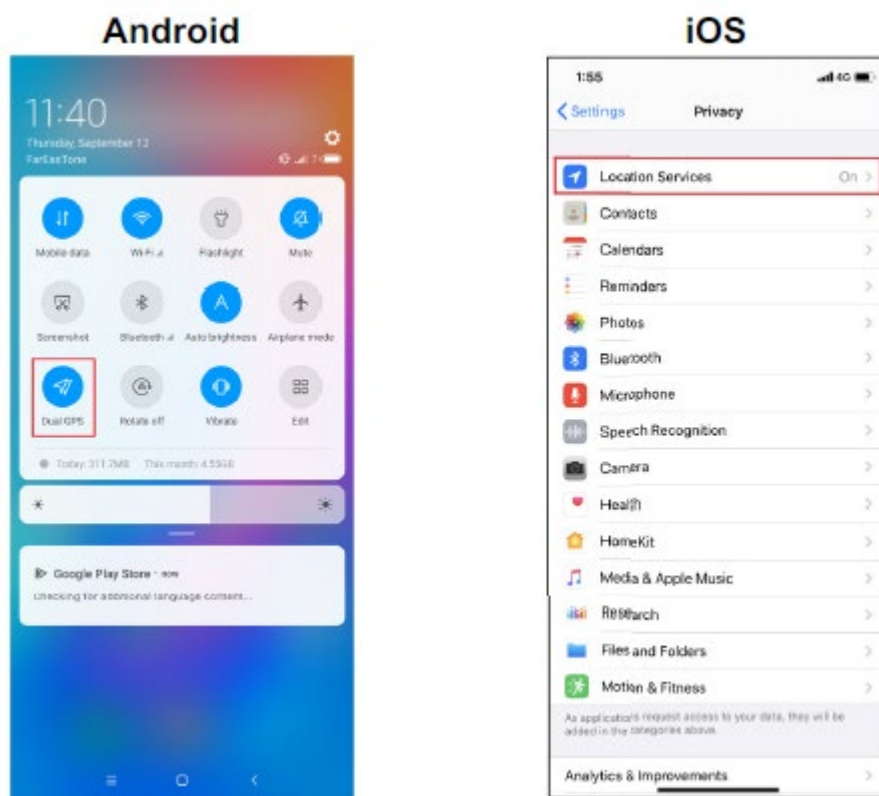


1. 電源アダプターのケーブル部分を、UC3022 の電源ジャックに接続してください。
2. 1 台目の HDMI ソースデバイスを、UC3022 の HDMI 1 入力ポート*に接続してください。
3. 2 台目の HDMI ソースデバイスを、UC3022 の HDMI 2 入力ポート*に接続してください。
4. プログラミングされた HDMI コンテンツを表示する場合は、UC3022 の HDMI プログラミング出力ポートと HDMI ディスプレイを HDMI ケーブルで接続してください (HDMI ケーブルは製品

パッケージに同梱されていないので、別途ご用意ください)。

5. お使いのノートパソコンに USB-A インターフェースの USB ポートしか搭載されていない場合は、製品パッケージに同梱されている USB-B→USB-A ケーブルを使って、ノートパソコンを接続してください。あるいは、お使いの Android モバイルデバイス/ノートパソコンに USB-C インターフェースしか搭載されていない場合は、製品パッケージに同梱されている USB-B→USB-C ケーブルを使って、Android モバイルデバイス/ノートパソコンを接続してください。
6. お使いの XLR オーディオソースを、UC3022 のアナログ 2 入力ポートに接続してください。
7. お使いの RCA オーディオソースを、UC3022 のアナログ 1 入力ポートに接続してください。
8. ATEN OnAir Lite アプリを起動して、このアプリがインストールされたモバイルデバイスと UC3022 をペアリングしてください。詳細は、p.39「ATEN OnAir Lite アプリ」を参照してください。

注意: ATEN OnAir Lite アプリを使用する際には、あらかじめ GPS 機能が有効であることをご確認ください。



9. (オプション)ビデオの切替を行って、HDCP 保護されたコンテンツを(ビデオキャプチャーせずに)接続ディスプレイに表示する場合は、HDCP スイッチを ON にしてください。

注意: UC3022 で HDCP 保護されたコンテンツをキャプチャーすることはできません。

ATEN OnAir アプリ

ATEN OnAir アプリは、Play ストアからダウンロードして、お使いの Andoid モバイルデバイスにインストールしてください。このアプリは、UC3022 におけるプログラミング結果の管理や編集を目的として設計されたものです。ATEN OnAir アプリには、次の強力な機能が搭載されています。

- ◆ 絵コンテ風管理
- ◆ シーンエディター
- ◆ オーディオ感知スイッチ
- ◆ クロマキー管理
- ◆ オーディオミキサー管理

フォン・トレイ

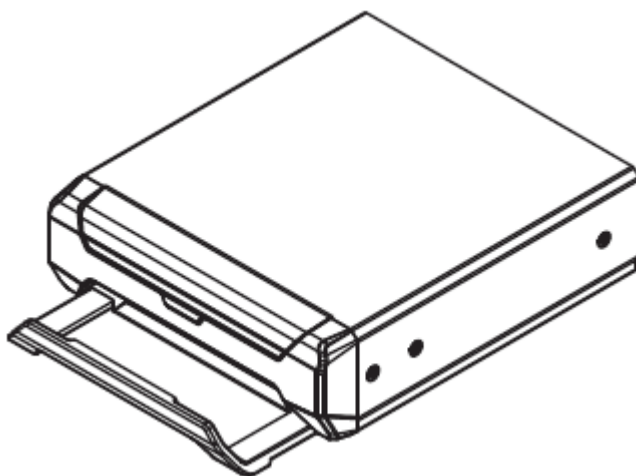
フォン・トレイを使うと、モバイルデバイスを据え付けることができます。お使いのモバイルデバイスでこのアイテムを使用するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. UC3022 からフォン・トレイをスライドして引き出してください。



フォン・トレイ

2. お使いのモバイルデバイスを、このトレイの上に載せてください。



ソフトウェア

UC3022 を有効にするには、お使いのシステム要件に合わせて、適切なビデオ録画ソフトウェアまたはライブ配信ソフトウェアをダウンロードし、インストールしてください。

PC

PC 向けにサポートされているビデオ録画/ライブ配信ソフトウェアの例は次のとおりです。

下記はすべて各社の商標です。

OBS: <https://obsproject.com>

Xsplit: <https://www.xsplit.com>

<https://www.youtube.com>

<https://www.facebook.com>

<https://www.zoom.com>

<https://www.skype.com>

<https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-365>

Android スマートフォン

Android スマートフォン向けにサポートされているビデオ録画/ライブ配信ソフトウェアの例は次のとおりです。

下記はすべて各社の商標です。

<http://www.camerafi.com/supported-devices/>

UC3022 を使った操作全般については、次の章で説明します。

第3章

ライブ配信/録画の設定

ライブ配信/録画用プラットフォーム

下記は、利用可能なライブ配信または録画用ソフトウェア/プラットフォームの一例です。

OBS: <https://obsproject.com>

Xsplit: <https://www.xsplit.com>

<https://www.youtube.com>

<https://www.facebook.com>

<https://www.zoom.com>

<https://www.skype.com>

<https://www.microsoft.com/en-us/microsoft-365>

これらはすべて各社の商標です。

システムにおける UC3022 の検出方法

UC3022 はプラグアンドプレイに対応したデバイスです。お使いのシステムで、UC3022 の検出を行ってください。p.20「UC3022 本体の接続」に記載された方法で UC3022 を接続したら、次の例を参考にしながら、使用ユニットを検出してください。

Mac OS の場合

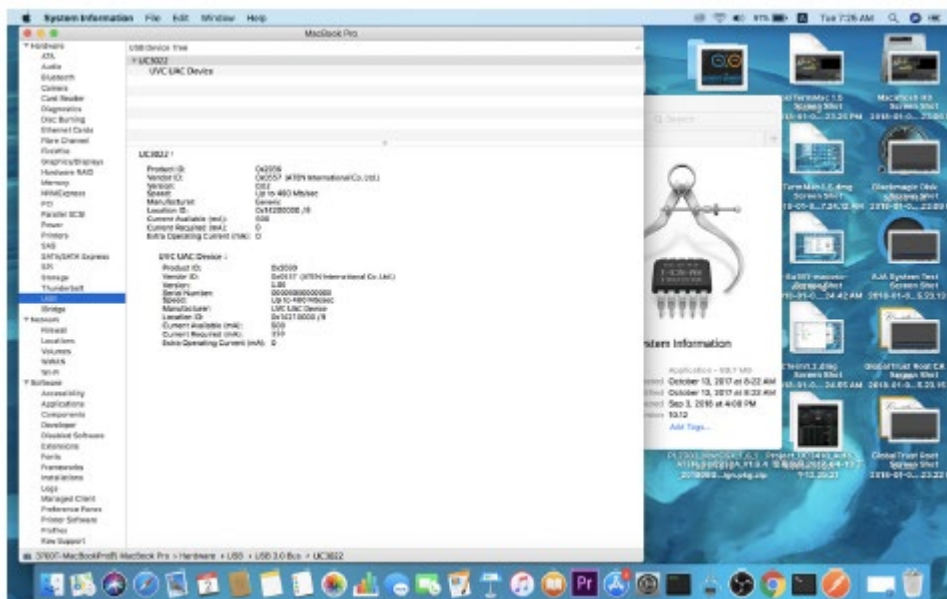
1. デスクトップのメニューで、[Go](移動) > [Utilities](ユーティリティ)を選択してください。



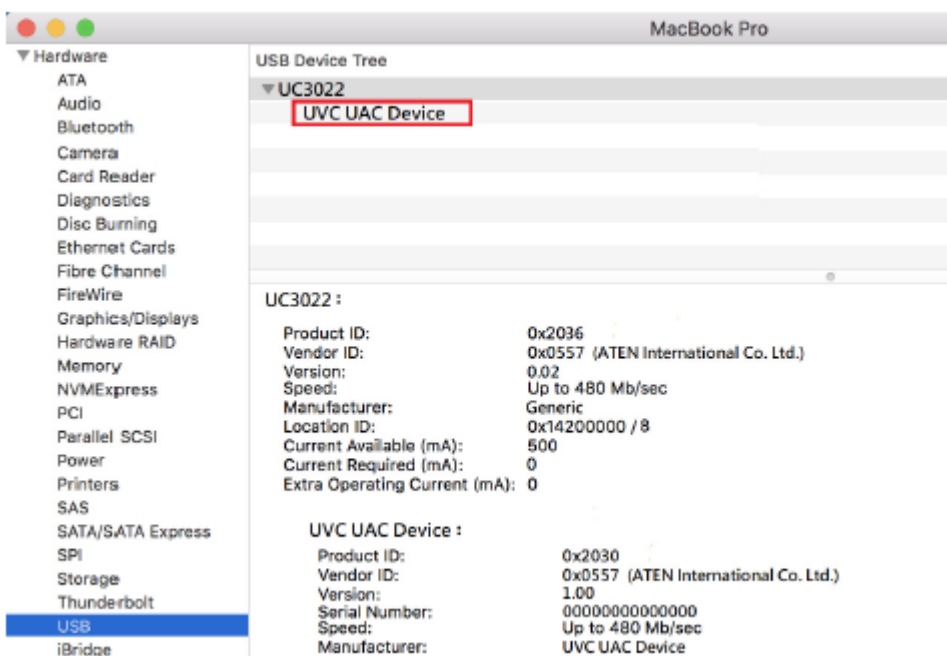
2. [Utilities](ユーティリティ)ウィンドウで、[System Information](システム情報)をダブルクリックしてシステムウィンドウを起動してください。



3. [Hardware](ハードウェア)の下にある[USB]をクリックして、USB画面に移動してください。



4. [USB 3.0 Bus](USB 3.0 バス)で、「UVC UAC デバイス」が確認できます。これは、お使いのシステムで UC3022 の検出が正常に行われたことを表しています。

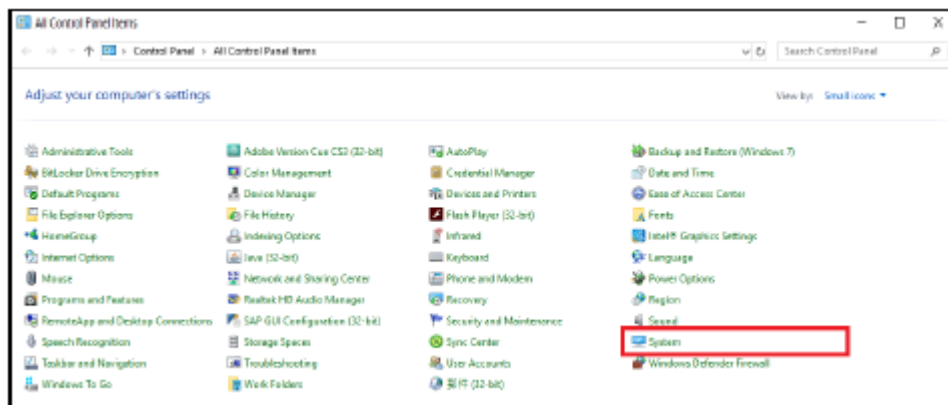


UC3022 を使ってライブ配信と録画を行うために、ビデオとオーディオをセットアップする方法の例については、次のセクションを参照してください。

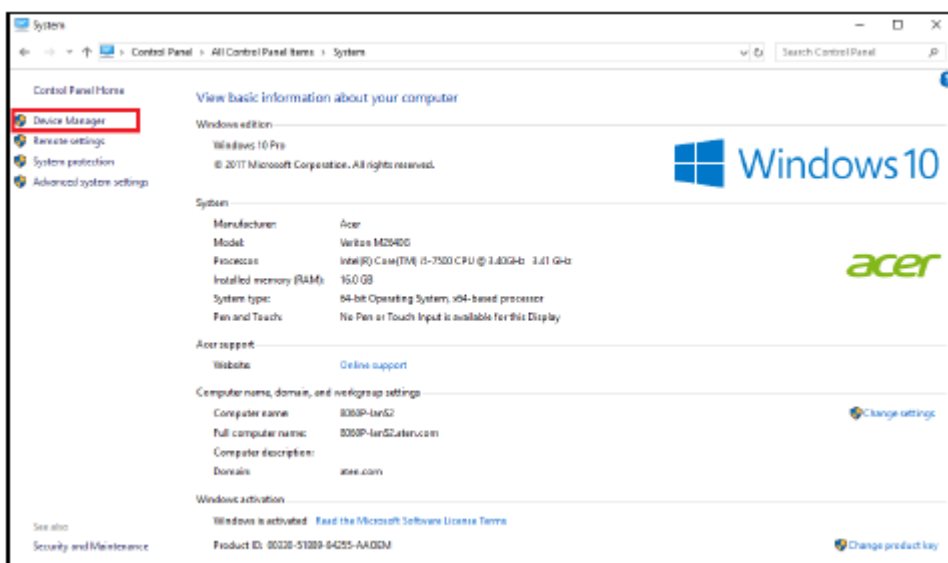
Windows の場合

Windows 10 で使用した場合の例は次のとおりです。

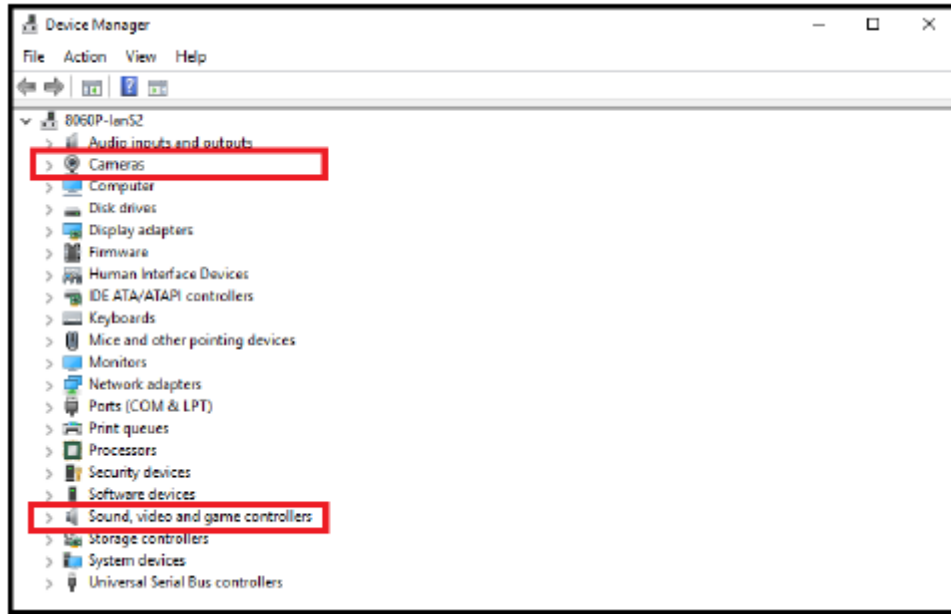
1. Windows 10 のデスクトップで、[コントロールパネル]を開き、[システム]を選択してください。



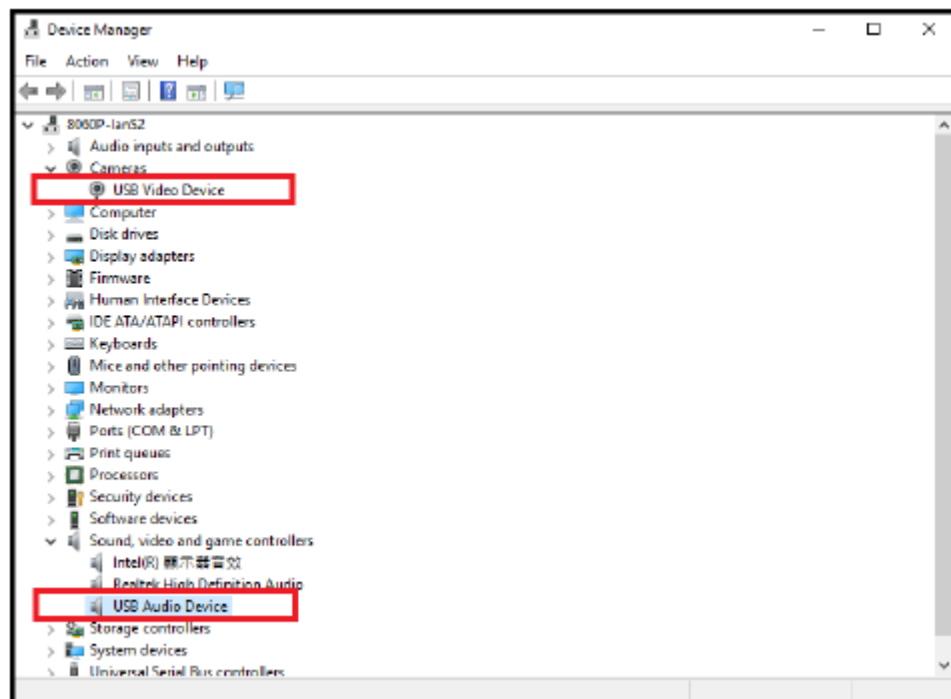
2. [システム]ウィンドウが表示されたら、[デバイスマネージャー]を選択してください。



3. デバイスマネージャーのウィンドウが表示されたら、[カメラ]と[サウンド、ビデオ、およびゲームコントローラー]をクリックしてください。



4. [カメラ]の下には[USB ビデオデバイス]が、そして、[サウンド、ビデオ、およびビデオコントローラー]の下には、[USB オーディオデバイス]が、それぞれ確認できます。これは、お使いのシステムで UC3022 が正常に検出されたことを表します。



ビデオとオーディオの設定

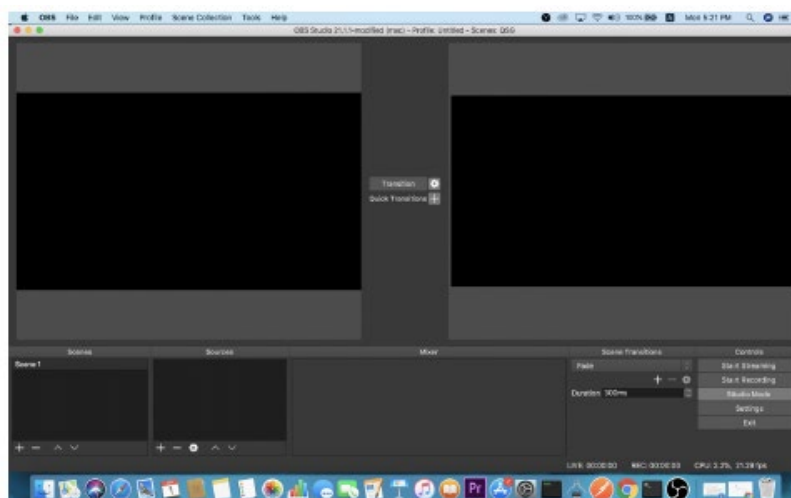
お使いのシステムでUC3022が検出されたら、ライブ配信/録画プラットフォームを選択してください。ここでは、UC3022 から出力されたビデオとオーディオのソースを設定する必要があります。

ビデオとオーディオのソースを(個別に)設定するには、次の手順に従って操作を行ってください。

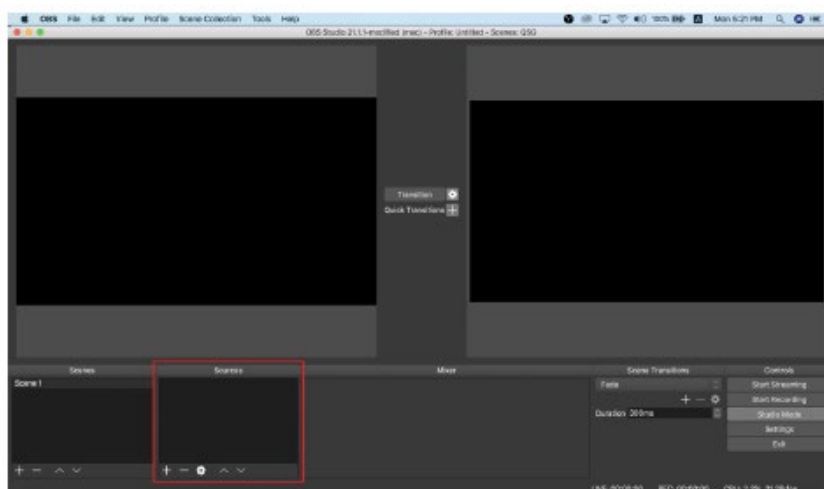
注意: ここでは、OBS というソフトウェアを例にとって説明します。



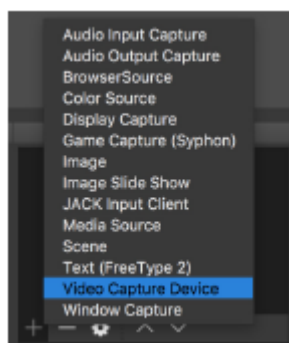
1. お使いのシステムで、OBS ソフトウェアを起動してください。



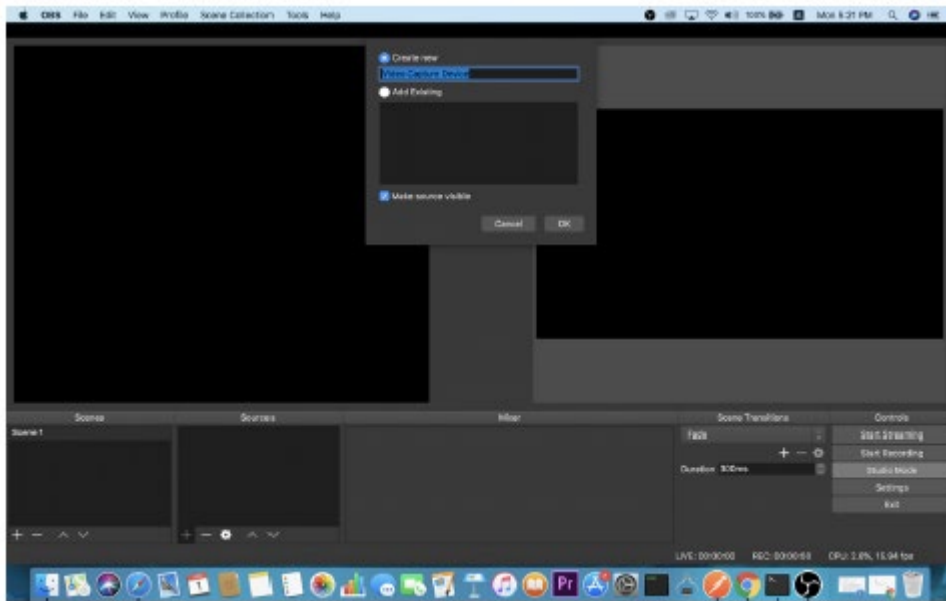
2. 「Sources」(ソース)パネルでの下で、(下図の赤枠で囲まれた部分にある)「+」ボタンをクリックして、ソースメニューを開いてください。



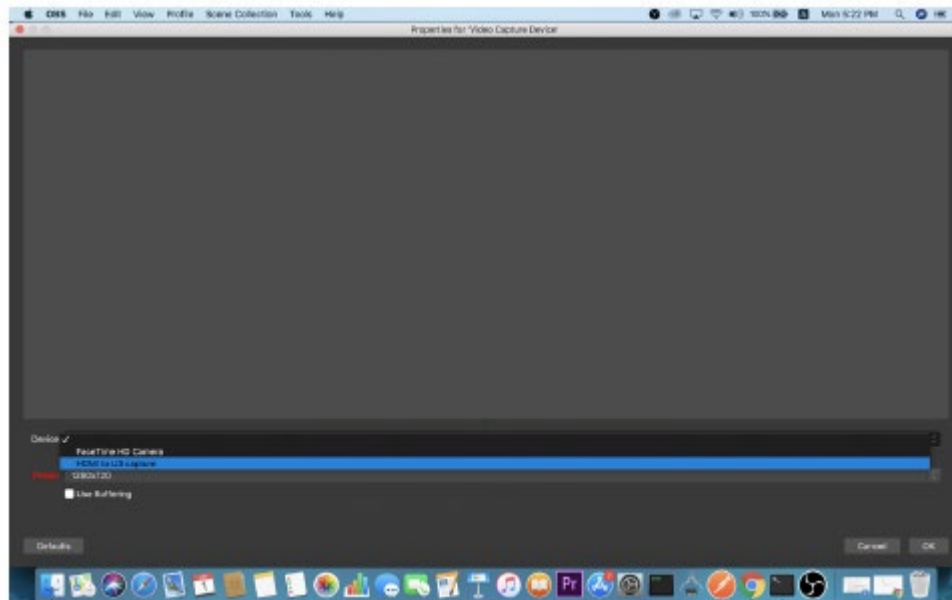
3. 「Video Capture Device」(ビデオキャプチャーデバイス)または「Audio Capture Device」(オーディオキャプチャーデバイス)を選択してください。



4. ビデオ/オーディオソースに名前を設定するウィンドウがポップアップ表示されます。操作を続行する場合は、「OK」をクリックしてください。
- この時、「Make source visible」(ソースを表示する)の項目にチェックを入れて有効にすることを推奨します。



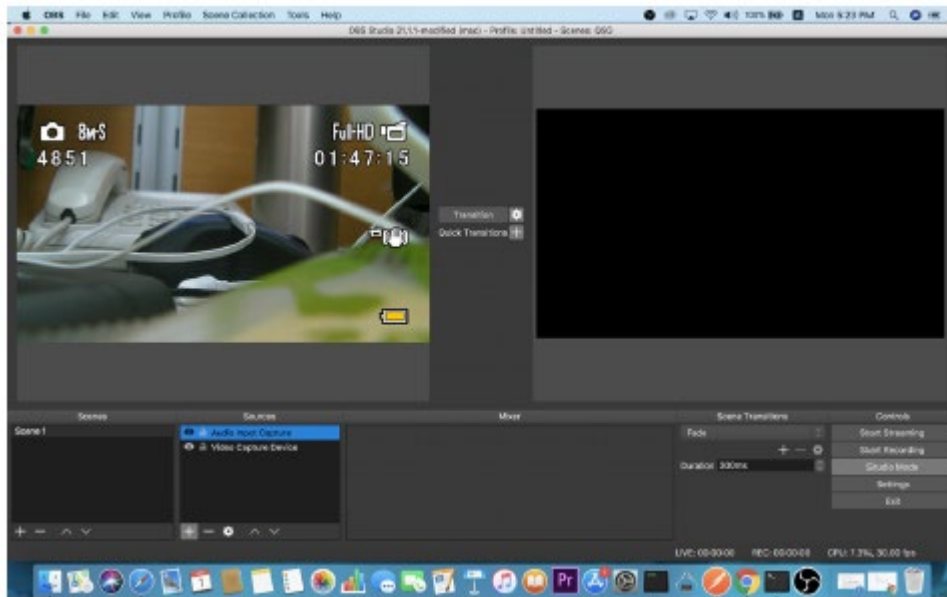
5. プロパティ画面で、「Device」(デバイス)ドロップダウンメニューをクリックして、UC3022 のビデオ/オーディオソースを選択してください。UC3022 のビデオとオーディオの両方のソースに、「HDMI to U3 capture」(HDMI→U3 キャプチャー)という名前が設定されます。



ビデオソースを選択すると、UC3022 のイメージが下図のように表示されます。操作を続行する場合は、「OK」ボタンをクリックしてください。



6. 設定が正常に行われると、ソースが「Source」(ソース)パネルに表示されます。



ビデオとオーディオのソース設定が完了すると、ライブ配信と録画を開始することができます。

お使いのライブ配信/ビデオ録画のソフトウェア/プラットフォームの設定に関する詳細は、本マニュアルの対象外です。詳しい設定方法は、そのソフトウェア/プラットフォームの操作ガイドやマニュアルをご参照ください。

USB ケーブルの使用

UC3022 は USB 2.0 インターフェース経由でコンピューターに接続されると、データバンド幅に合わせて、提供する圧縮ビデオ品質を MJPEG 圧縮モードへと自動設定します。より良いビデオ品質でお使いいただくために、UC3022 を USB 3.1 Gen 1 インターフェースに接続することを推奨します。

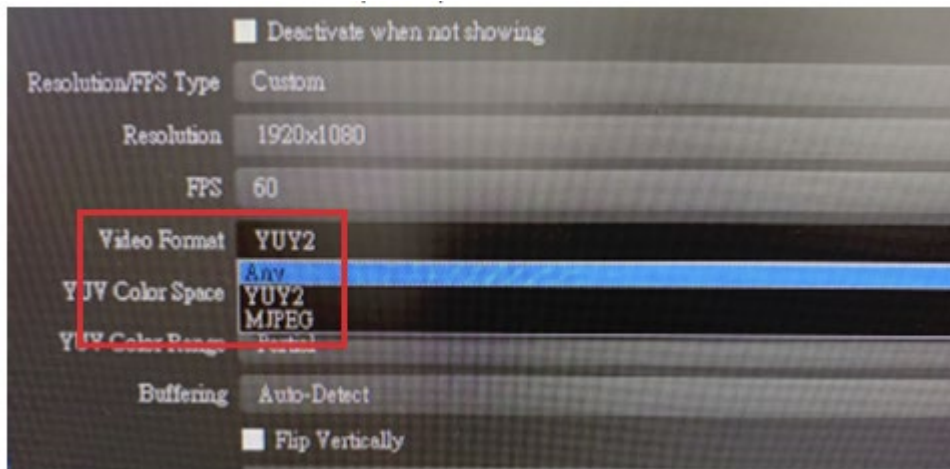
キャプチャーしたいメディア出力と結果が必ず一致するように、検出されたビデオフォーマットをお使いのキャプチャー用ソフトウェアであらかじめ確認するようにしてください。

USB 3.1-RAW と USB 2.0-MJPEG を OBS ソフトウェアで表示するキャプチャーデバイスカスタム設定画面の例は、次のとおりです。

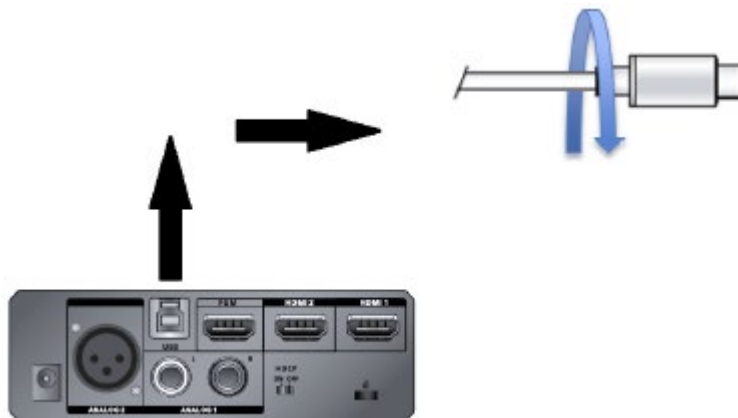
◆ MJPEG ビデオフォーマットのための USB 2.0 モード



◆ RAW (YUY2) および MJPEG ビデオフォーマットの USB 3.1 モード



キャプチャーされたメディアが MJPEG フォーマットのみの場合、UC3022 に接続している USB-B → USB-C ケーブルのコネクターを逆向きにして、下図のように接続するようにしてください。



HDCP 切替

HDCP 保護されたコンテンツを、HDMI ケーブルを使って HDMI プログラム出力ポート経由で表示するには、HDCP スイッチを ON に切り替えてください。デフォルトでは OFF に設定されています。

- 注意:**
1. UC3022 で HDCP 保護されたコンテンツをキャプチャすることはできません。
 2. HDCP スイッチが ON に設定されている場合、UVC/UAC を利用することはできません。



HDCP スイッチ

HDCP	PGM HDMI 出力解像度	USB ビデオ 出力モード	UVC ビデオ出力フォーマット
OFF	720p、1080p	PC	720p、1080p MJPEG または YUY2
		電話	720p、1080p MJPEG
ON	720p、1080p、 2160p @30Hz	N/A	N/A

UC3022 のリセット

UC3022 をリセットしてデフォルトの設定に戻すには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. Bluetooth リンクボタンを長押ししてください。



2. 電源アダプターのケーブル部分を UC3022 の電源ジャックに接続して、UC3022 本体に電源を入れてください。
3. そうすると、フロントパネル LED が 0.1 秒おきに同時に点滅し、UC3022 がリセットしてデフォルト設定に戻ります。

第4章

ATEN OnAir Lite アプリ

ATEN OnAir Lite アプリ

ATEN OnAir アプリは、UC3022 の中央コントローラーとして機能します。アプリは、プログラム結果の監視、シーンの編集、ビデオおよびオーディオのセットアップなどが、コントロールパネルから行えるよう設計されています。ATEN OnAir アプリは、App Store または Google Play からダウンロードして、お使いのモバイルデバイスにインストールしてください。

- 注意:**
1. ATEN OnAir アプリの最大操作時間は4時間です。
 2. ATEN OnAir Lite アプリを使用するには、あらかじめGPS機能を有効にしておいてください。

サポートされるモバイル OS

ATEN OnAir アプリは次のモバイル OS に対応しています。

モバイル OS	サポートされるバージョン
Android	バージョン 5 以降
iOS	バージョン 10 以降

UC3022 のセットアップ

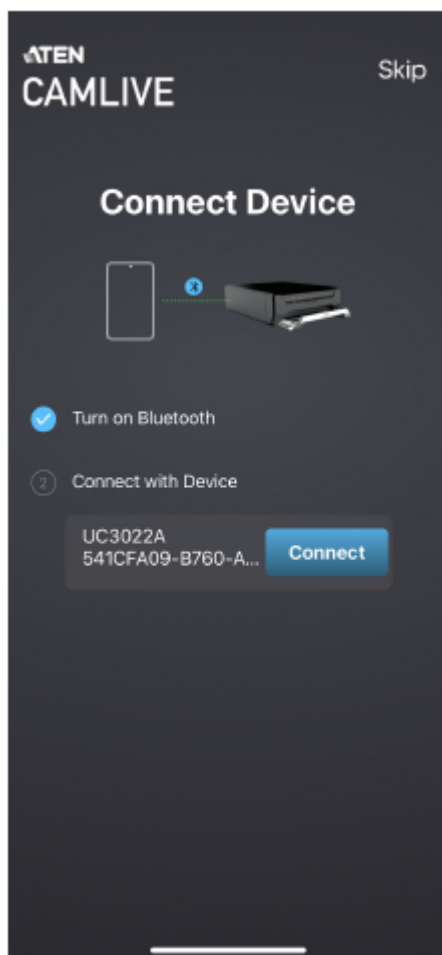
1. ATEN OnAir アプリをモバイルデバイスにインストールしてください。

- a) モバイルデバイスで、「App Store」 または「Google Play」 のアイコンをタップしてください。
- b) 検索ボックスで、「CAMLIVE™ PRO」と入力してください。
- c) 「CAMLIVE™ PRO」をタップして、アプリをインストールしてください。

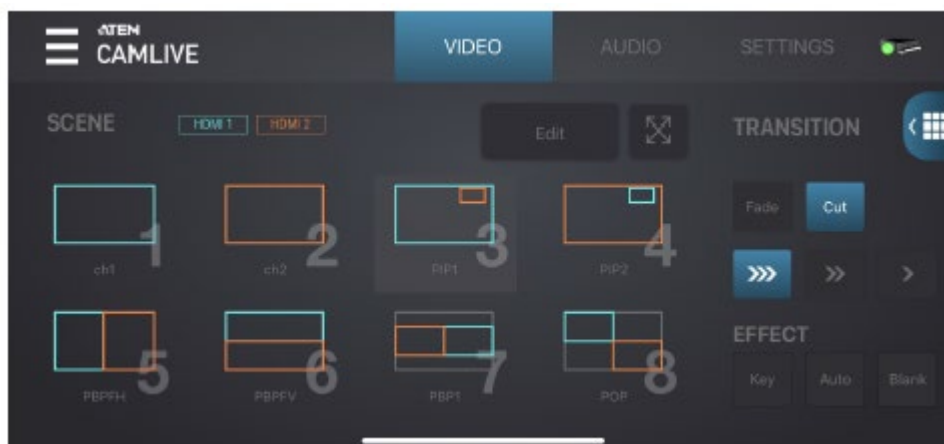
2. モバイルデバイスで「CAMLIVE™ PRO」  アイコンをタップしてください。
3. 画面内の指示に従って操作を行ってください。

モバイルデバイスから UC3022 に接続するには

UC3022 は、プラグアンドプレイで使用できるデバイスです。そのためには、p.20「UC3022 本体の接続」に記載されているとおりにセットアップを行う必要があります。OnAir Lite アプリを起動すると、UC3022 が自動的に検出されます。対象のデバイスを確認したら、「Connect」(接続)をクリックしてください。

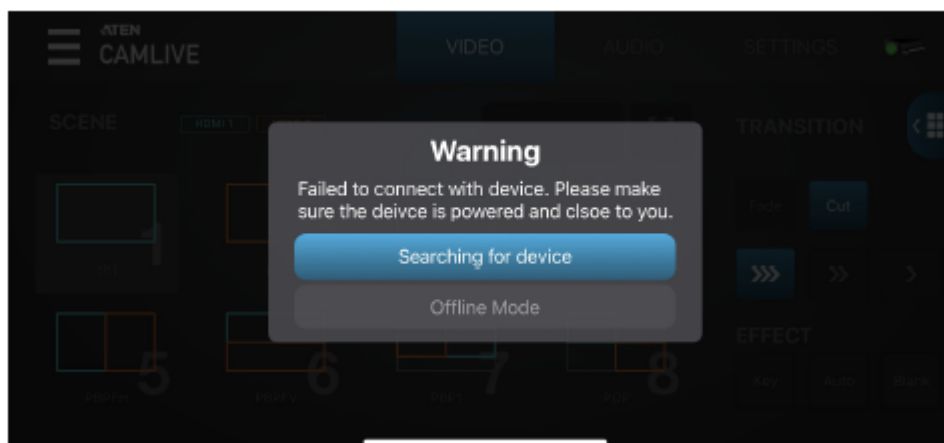


UC3022 へと正常に接続すると、下図のような画面が表示されます。



モバイルデバイスが圏外になると、下図のような警告メッセージが表示されます。UC3022 に接続しなおすには、「**Searching for device**」(デバイスを検索)を押して、上記のように画面内の指示に従って操作を行ってください。

オフラインモードを開始するには、「**Offline Mode**」(オフラインモード)を押してください。オフラインモードでは、UC3022 を設定することができますが、設定内容はデバイスが ATEN OnAir Lite アプリに再接続した際に初めて有効になります。



モバイルデバイスと UC3022 の接続を切断するには

UC3022 との接続を切断するには、「**System Information**」(システム情報)アイコンをクリックし、「Disconnect」(切断)を選択してください。詳細は p.44「プロジェクトの設定」を参照してください。


UC3022 に別のモバイルデバイスを接続するには、製品本体にある Bluetooth リンクボタンを 3 秒間長押ししてください。そうすると、HDMI 1 と HDMI 2 の各 LED が、0.5 秒間隔で 3 秒間点滅します。

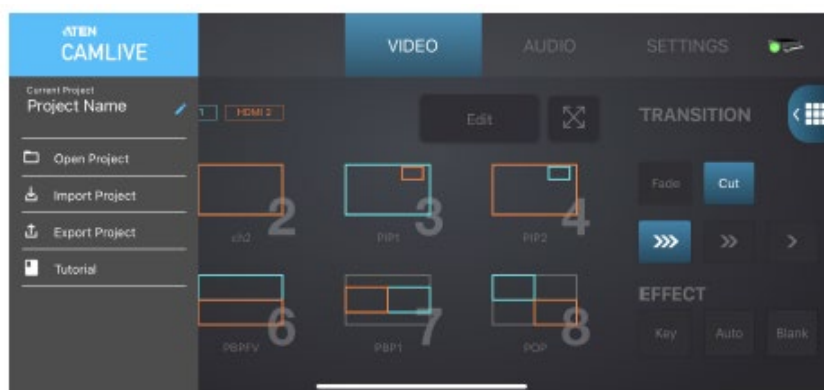
画面各部名称




No.	名称	説明
1	プロジェクト設定	タップすると、プロジェクト名を変更したり、プロジェクトを開いたり、また、プロジェクトのインポート/エクスポート、チュートリアル of 起動といった操作を行ったりすることができます。
2	デッキセレクター	タップすると、目的の設定デッキを選択します。 デッキは、ビデオミキサー、オーディオミキサー、設定の 3 種類が利用可能です。
3	システム情報	タップすると、現在のソフトウェアやファームウェアに関するバージョン情報を確認したり、デバイスとの接続の切断を行ったりすることができます。詳細は次の「プロジェクトの設定」セクションを参照してください。
4	デッキコンテンツ	コンテンツは選択されたデッキに応じて変わります。

プロジェクトの設定

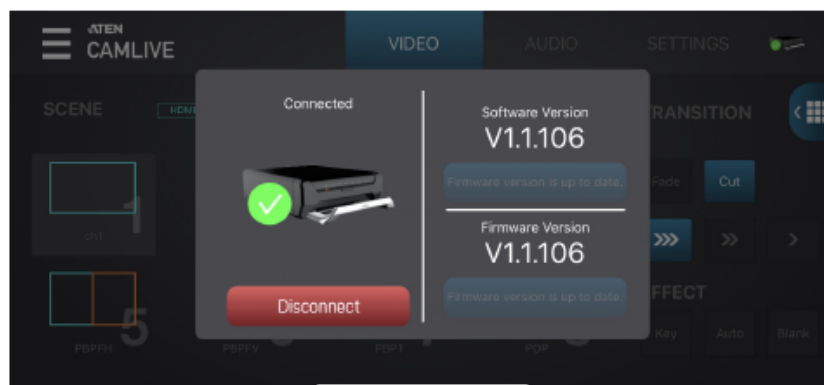
プロジェクト名を変更したり、プロジェクトを開いたり、プロジェクトのインポート/エクスポート、またはチュートリアルを開始を行ったりするには、 をタップしてください。



システム情報タブ

現在のソフトウェアやファームウェアに関するバージョン情報を確認したり、デバイスとの接続を切断したりするには、ATEN OnAir Lite アプリの画面で  アイコンをタップしてください。

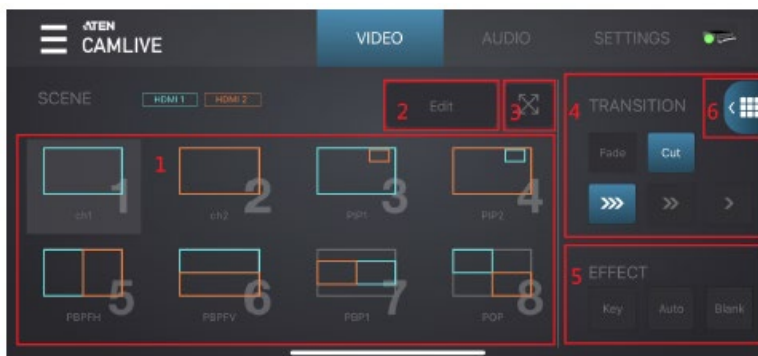
注意: ソフトウェアやファームウェアを最新バージョンへと自動的にアップグレードするには、ソフトウェアおよびファームウェアを v1.1.105 に手動でアップグレードする必要があります。詳細は p.64「ファームウェアアップグレードユーティリティ」を参照してください。

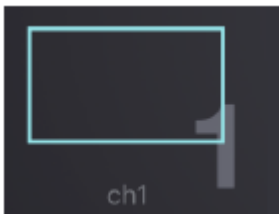



ビデオミキサー


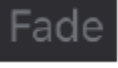



ビデオミキサーのデッキ画面では、ビデオのエフェクト調整、シーンの選択と編集、およびトランジション制御を行うことができます。

ページの各部名称を以下に示します。




No.	名称	説明
1	シーンセレクター	<p>ここには 8 つのシーンが表示されます。 外枠がブルーのシーンは HDMI 1 です。 例：  外枠がオレンジのシーンは HDMI 2 です。 例： </p> <p>シーンをタップすると、そのシーンを PRV プレビューのセクションに配置します。シーンを PRV プレビューから PGM プレビューに配置するには、トランジション制御(後述)を使用します。</p>

(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
2	シーンエディター	このアイコンをタップすると、個々のシーンを設定できます。各シーンの編集方法については、p.47「シーンエディター」を参照してください。
3	拡大	タップすると、シーンセレクターを拡大します。
4	トランジション制御	<p>現在のストリーミング (PGM) シーンの切替を制御します。</p> <p>切替を行うには</p> <ol style="list-style-type: none"> 「Cut」(カット) ボタン()をタップしてください。 トランジションの時間を、1 秒、2 秒、3 秒から選択し、「Fade」(フェード) ボタン()をタップしてください。 <p><u>カットボタンの使用</u> トランジションは、「Cut」(カット) ボタンをタップするとすぐに実行されます。</p> <p><u>フェードボタンの使用</u> 「Fade」(フェード) ボタンをタップすると、指定した時間 (1 秒、2 秒、3 秒) 後にトランジションが開始されます。</p>
5	エフェクト制御	<p>「Key」(キー) ボタン()をタップすると、HDMI プログラム出力ポートに接続された HDMI ディスプレイに対して、クロマキーのエフェクトを有効にします。詳細は p.57「クロマキー」を参照してください。</p> <p>「Auto」(自動) ボタン()をタップすると、HDMI プログラム出力ポートに接続された HDMI ディスプレイが入力オーディオソースに従うように、表示コンテンツを切り替えます。詳細は p.59「自動切替」を参照してください。</p> <p>「Blank」(ブランク) ボタン()をタップすると、HDMI プログラム出力ポートに接続された HDMI ディスプレイに対して、ブランクの背景を設定します。</p>
6	ホットキーのマッピング	タップすると、クロマキー効果用のホットキーを作成します。

シーンエディター

シーンを編集するには、次の手順に従って操作を行ってください。

1. シーンセレクトターからシーンを選択してください。
2. ビデオミキサー画面で「Edit」(編集)ボタン()をタップしてください。

以下に PiP2 での使用例を示します。




No.	名称	説明
1	戻るボタン	タップすると、ビデオミキサー画面に戻ります。
2	シーン名	この部分にはシーンの名前が表示されます。タップすると、この名前を編集することができます。
3	オーバーレイボタン	タップすると、メイン画面とオーバーレイ画面を切り替えます。また、オーバーレイ・シーンのリサイズやトリミングを行うこともできます。
4	ビデオソース切替(デュアルディスプレイ)	デュアルディスプレイの際にこのボタンをタップすると、HDMI 1 と HDMI 2 のビデオソースの位置を入れ替えます。また、切り替えられたソースのリサイズやトリミングを行うこともできます。
5	リセットボタン	タップすると、現在のシーンをリセットします。
6	HDMI 2 表示/リサイズツール	HDMI 2 コンテンツをリサイズ/トリミングツール付きで表示します。 ◆ HDMI 2 のコンテンツをリサイズするには、p.49「リサイズ」を参照してください。 ◆ HDMI 2 のコンテンツをトリミングするには、p.50「トリミング」を参照してください。

(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
7	HDMI 1 表示/ リサイズツール	HDMI 1 コンテンツをリサイズ/トリミングツール付きで表示します。 <ul style="list-style-type: none"> ◆ HDMI 1 のコンテンツをリサイズするには、p.49「リサイズ」を参照してください。 ◆ HDMI 1 のコンテンツをトリミングするには、p.50「トリミング」を参照してください。
8	レイアウト選択	タップすると、お好みのレイアウトを選択することができます。また、デュアルディスプレイのリサイズを行うこともできます。

オーバーレイボタン


デュアルディスプレイのシーンからオーバーレイディスプレイを参照するには、シーンエディタ

一画面で  アイコンをタップしてください。



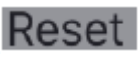
ビデオソースの切替

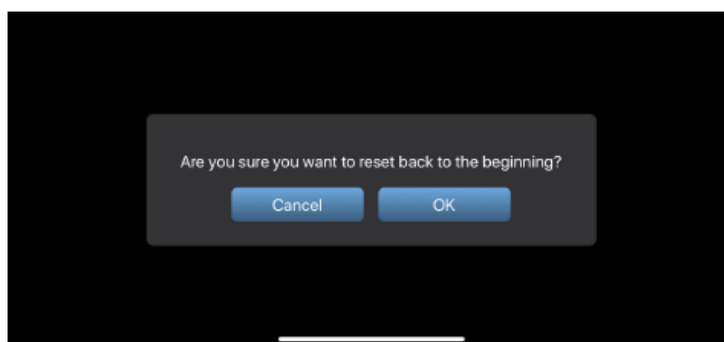
HDMI 1 と HDMI 2 の間でビデオソースの位置を切り替えるには、シーンエディター画面で

 アイコンをタップしてください。



リセットボタン



選択されたシーンに対して行った変更をリセットしたり、やり直したりするには、シーンエディター画面で「Reset」(リセット)ボタン()をタップしてください。そうすると、警告メッセージが表示されますので、「OK」をクリックしてください。




リサイズ/トリミングツール

このセクションでは、シーンレイアウトの HDMI 1 と HDMI 2 に対してリサイズおよびトリミングを行う方法について説明します。



リサイズ

HDMI 1 と HDMI 2 の表示コンテンツをリサイズするには、ビデオミキサー画面でシーンを選択して、「Edit」(編集)ボタン()をクリックしてください。そうすると、ビデオミキサー画面の HDMI 1 と HDMI 2 のコンテンツの上に、リサイズツール()が表示されます。以下に PiP2 での使用例を示します。




リサイズツール()をタップしたままドラッグすると、ディスプレイをリサイズします。

トリミング


HDMI 1 や HDMI 2 の表示コンテンツをトリミングするには、ビデオミキサー画面でシーンを選択して、「Edit」(編集)ボタン()をクリックしてください。そうすると、シーンエディター画面の HDMI 1 と HDMI 2 のコンテンツの上に、トリミングツール()が表示されます。以下に PiP2 での使用例を示します。



表示コンテンツをトリミングするには、次の手順に従って操作を行ってください。


1. トリミングツールボタン()をタップしてください。そうすると、下図のような画面が表示されます。



2. 拡大ボタン()をタップして、表示コンテンツのトリミングを行ってください。そうすると、下図

のような画面が表示されます。



3. トリミングツールのポイント()をタップしたままドラッグして、トリミング領域の調整を行ってください。タップしたままにすると、トリミング領域を移動します。

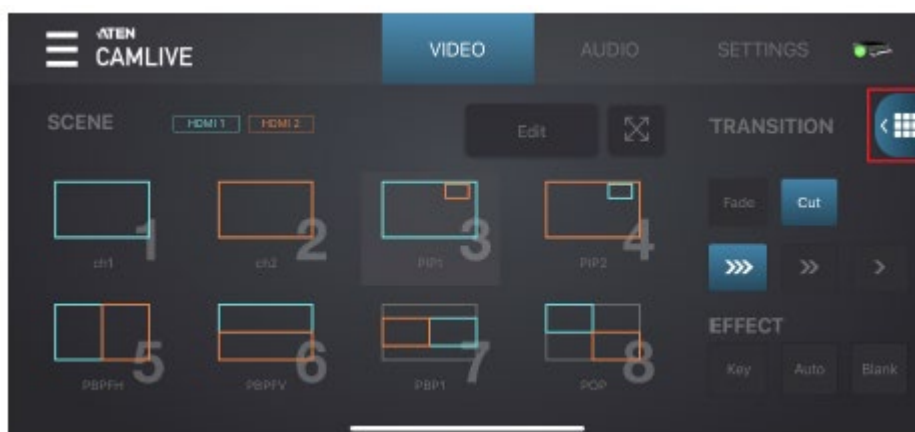



4. 編集が完了したら「Done」(完了)をクリックしてください。

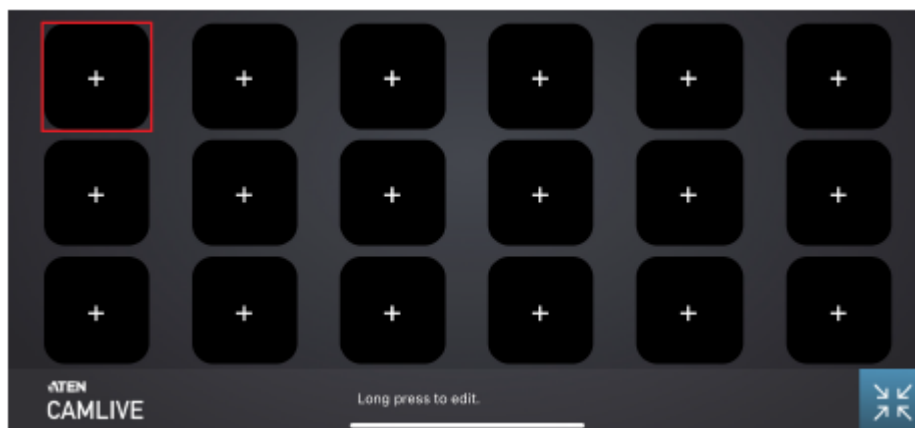
ホットキーのマッピング

クロマキー効果に対してホットキーを作成するには、次の手順に従って操作を行ってください。

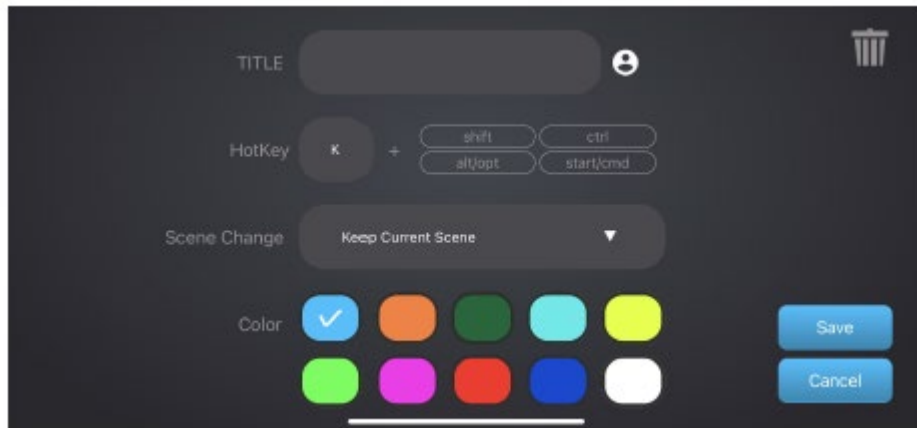
1. ビデオミキサーのデッキ画面で、 をタップしてください。



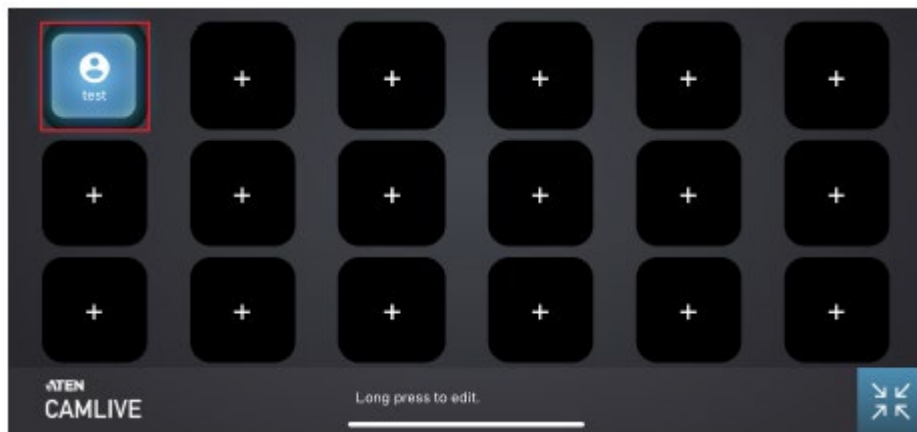
2. ホットキーのマッピング画面で、 をタップしてください。




3. ホットキーの設定画面では、ホットキーマッピングの名称設定、ホットキーやシーンの選択、および色の変更を行うことができます。設定が完了したら、「Save」(保存)をクリックしてください。



4. そうすると、ホットキーのマッピング画面に、設定されたアイテムが表示されるようになります。



5. ホットキーを編集するには、ホットキーを長押ししてホットキー設定画面に遷移してください。

6.  をタップすると、ホットキーのマッピング画面を終了します。

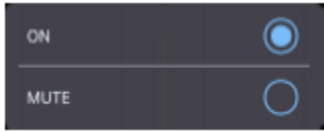

オーディオミキサー

オーディオミキサーのデッキ画面における各部名称は以下のとおりです。

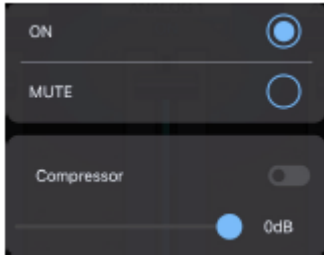




No.	名称	説明
1	オーディオレベル調節	音量スライダーをスライドさせると、各オーディオソースの音量を調節します。
2	オーディオ調節	<p>タップすると、オーディオコントロールを選択して調節します。LEDの状態表示に関する詳細は、p.16「フロントパネル」を参照してください。</p> <p>HDMI 1 および HDMI 2: タップすると、HDMI 1 および HDMI 2 に対するオーディオコントロールを、AFV、ON、MUTE(ミュート)から選択します。</p> <div data-bbox="805 1545 1129 1727" data-label="Image"> </div> <p>AFV (Audio-Follow-Video) : ソースのビデオとオーディオを同時に配信します。 ON: オーディオが ON になります(ミュート OFF)。 MUTE(ミュート) : オーディオが OFF になります(ミュート ON)。</p>

(表は次のページに続きます)

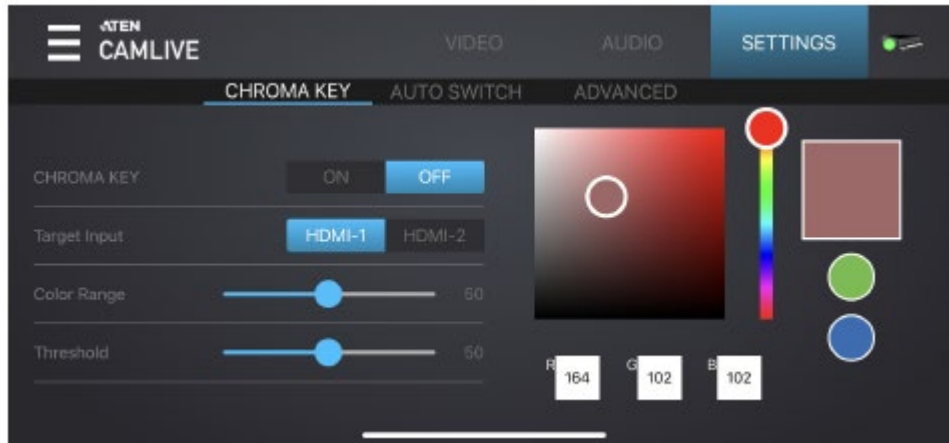
No.	名称	説明
2	オーディオ調節 (続き)	<p>ANALOG 1(アナログ 1): タップすると、ANALOG 1 に対するオーディオコントロールを、ON と MUTE (ミュート) から選択します。</p>  <p>ON:オーディオが ON になります(ミュート OFF)。 MUTE (ミュート):オーディオが OFF になります(ミュート ON)。</p> <p>ANALOG 2(アナログ 2): タップすると、ANALOG 2 に対するオーディオコントロールを、ON と MUTE (ミュート) から選択します。</p>  <p>ON:オーディオが ON になります(ミュート OFF)。 MUTE (ミュート):オーディオが OFF になります(ミュート ON)。 Gain (ゲイン):しきい値を、0dB、+6dB、+12dB、+18dB、+24dB、+30dB から選択します。 Type (タイプ):「Mono」(モノ)と「Stereo」(ステレオ)から選択します。</p>

(表は次のページに続きます)

No.	名称	説明
2	オーディオ調節 (続き)	<p>PGM: タップすると、PGM に対するオーディオコントロールを選択し、コンプレッサーの設定を ON または MUTE (ミュート) に調整します。</p>  <p>ON: オーディオが ON になります (ミュート OFF)。 MUTE (ミュート): オーディオが OFF になります (ミュート ON)。 Compressor (コンプレッサー): タップすると、コンプレッサーの機能を有効または無効に設定します。また、ダイヤルをドラッグすると、しきい値を調節します。デフォルトでは無効に設定されています。</p> <p>設定が無効である場合、コンプレッサーはこのように表示されます。</p>  <p>設定が有効である場合、コンプレッサーはこのように表示されます。</p> 
3	左右バランス調節	タップしたままドラッグすることで、音源のどちら側を強調するかを制御します。
4	PGM レベル調節	ボリュームスライダーを動かして、PGM のボリュームを調節します。

設定パネル

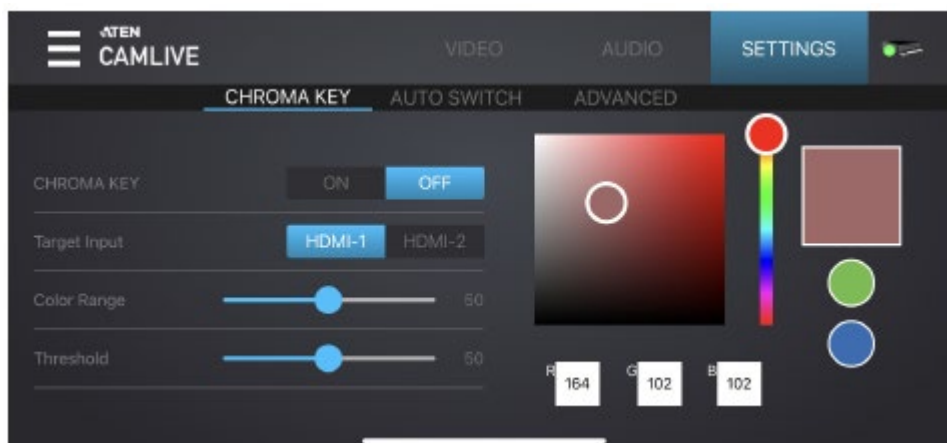
設定デッキ画面における各部名称は以下のとおりです。



クロマキー

クロマキーを使うと、ユーザーは色範囲に基づいて2系統のHDMIソースを合成します。通常、この処理はグリーンの画面を使って行います。ATEN OnAir Lite アプリは、色のついた背景を削除し、その部分に HDMI ソースを合成します。

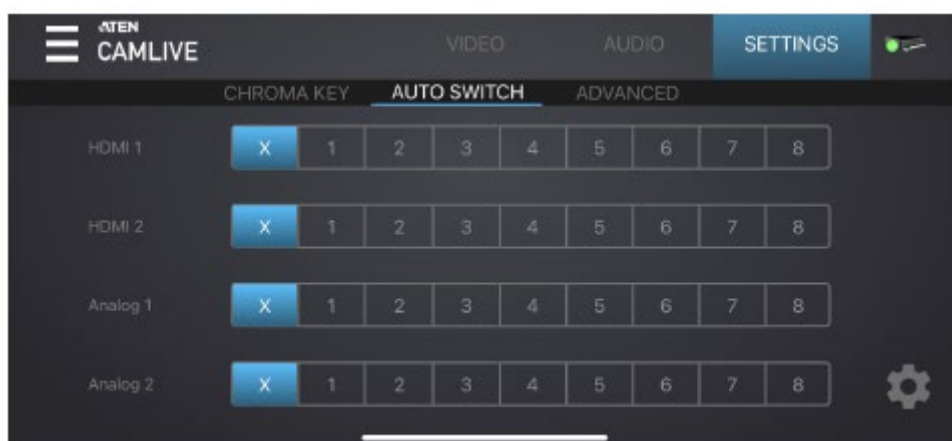
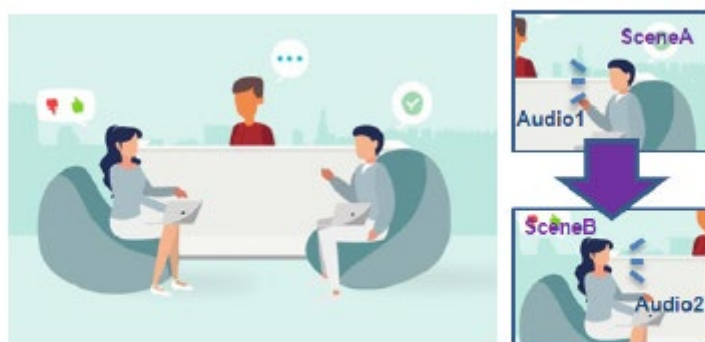




No.	名称	説明
1	クロマキー	クロマキー効果を ON/OFF にし、HDMI 入力ソースで完全に透明にさせる色背景を選択します。
2	ターゲット入力	クロマキーに対するターゲット入力を選択します。
3	色範囲	色背景の色範囲を調節します。
4	しきい値	色背景のしきい値を調節します。

自動切替


自動切替を使うと、HDMI プログラム出力ポートに接続されている HDMI 表示コンテンツを入力オーディオソースに自動的に合うように切り替えることができます。ユーザーは、自動切替するために各オーディオ入力ソースに対するシーンを選択することができます。

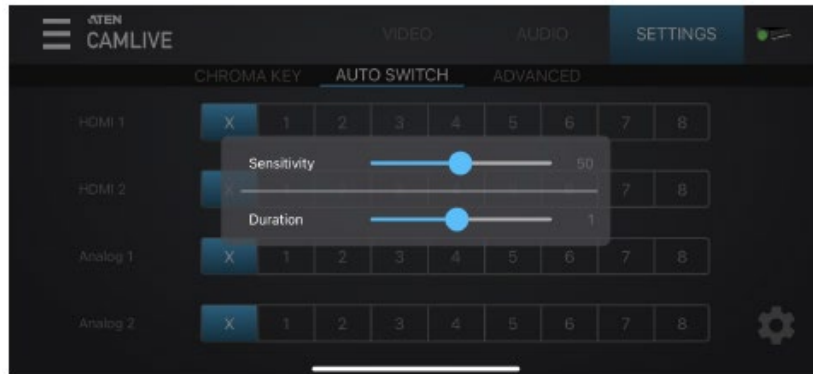


注意: 詳細は p.45「シーンセレクター」を参照してください。

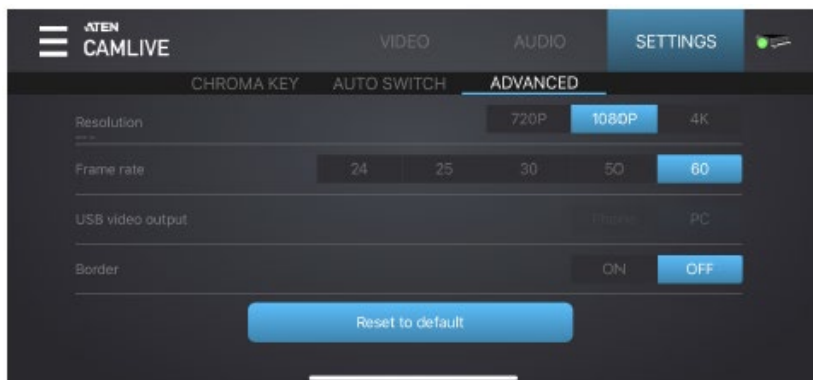
No.	名称	説明
1	HDMI 1	HDMI 1 のシーンを選択します。
2	HDMI 2	HDMI 2 のシーンを選択します。
3	ANALOG 1	ANALOG 1 のシーンを選択します。
4	ANALOG 2	ANALOG 2 のシーンを選択します。

詳細設定

 をタップすると、オーディオの感度と間隔を調節します。



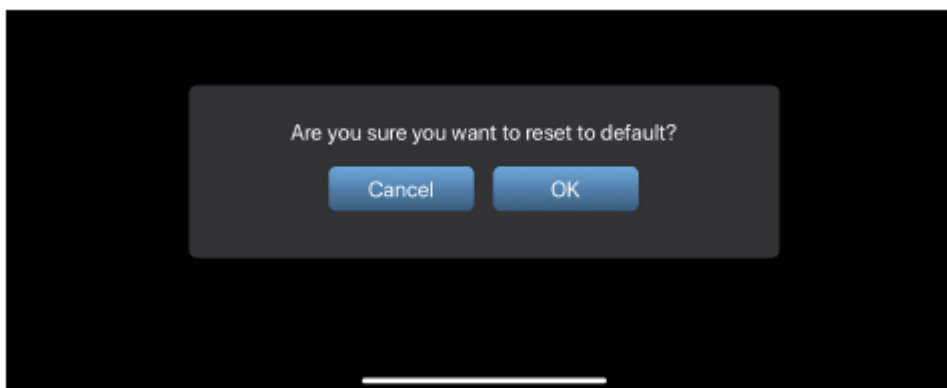
詳細



No.	名称	説明
1	解像度	HDCPがONの場合におけるHDMI表示コンテンツの解像度を選択します。 注意: HDCPがOFFの場合、4K解像度はサポートされません。 詳細はp.37「HDCP切替」を参照してください。
2	フレームレート	HDCPがONの場合におけるHDMI表示コンテンツのフレームレートを選択します。
3	USBビデオ出力	USBビデオ出力をスマートフォンとPCから選択します。
4	枠	HDMI表示コンテンツのビデオ枠を設定します。

UC3022 のリセット

UC3022 をリセットして、工場出荷時におけるデフォルト設定に戻すには、**Reset to default** ボタンをタップしてください。そうすると、警告メッセージが表示されます。リセットを実行する場合は、「OK」をクリックしてください。



ATEN OnAir Lite アプリにおける工場出荷時のデフォルト設定

ATEN OnAir Lite アプリにおける工場出荷時のデフォルト設定は、下表のとおりです。

デッキ	コンポーネント	設定	デフォルト
ビデオ	レイアウト名	1	ch1
		2	ch2
		3	PIP1
		4	PIP2
		5	PBPFH
		6	PBPFV
		7	PBP1
		8	POP
	トランジション	エフェクト	カット
		インターバル	0.3 秒
オーディオ	HDMI 1	ボリューム	AFV、0dB
	HDMI 2	ボリューム	AFV、0dB
	ANALOG 1(RCA)	ボリューム	ON、0dB
	ANALOG 2(XLR)	ボリューム	ON、0dB
		ゲイン	0dB
		タイプ	モノ
	PGM	ボリューム	ON、0dB
		コンプレッサー	ON、0dB
設定	クロマキー	ターゲット入力	HDMI 1
		色選択	130 / 130 / 130
		色範囲	50
		しきい値	50
	自動切替	HDMI 1	✓
		HDMI 2	✓
		ANALOG 1	✓
		ANALOG 2	✓
		感度	50
		インターバル	1

(表は次のページに続きます)

デッキ	コンポーネント	設定	デフォルト
設定	詳細	解像度	1080p(HDCP ON)
		フレームレート	60
		枠	OFF
		USB ビデオ出力	PC

第5章

ファームウェアアップグレードユーティリティ

概要

ファームウェアアップグレードユーティリティは、PC のビデオキャプチャーまたは Android スマートフォンのビデオキャプチャーのどちらかの機能がサポートされるよう、ユーザーが簡単な方法で UC3022 をアップグレードするツールとして提供されています。

新しいファームウェアバージョンが利用可能になると、そのバージョンのパッケージが Web サイトに公開されます。最新のファームウェアや関連情報は、弊社 Web サイト (<http://www.aten.com/jp/ja/>)にて定期的にご確認ください。

ファームウェアアップグレードパッケージのダウンロード

ファームウェアアップグレードパッケージをダウンロードするには、次の手順に従って実行してください。

1. 弊社 Web サイト (<http://www.aten.com/jp/ja/>) にアクセスし、ファームウェアアップグレードパッケージのページに移動してください。ダウンロードは、1) 製品ページ内の「サポートとダウンロード」メニューからアクセス、または、2) ホームページ右上に表示される(表示画面のサイズによっては画面左上に三本線のアイコンが表示されるので、それをクリックすると表示される)「サポートとダウンロード」→「ダウンロード」→「他の製品の資料をダウンロードする」に型番を入力して検索する方法で行えます。そうすると、使用可能なファームウェアアップグレードパッケージのリストが表示されます。
2. インストールするファームウェアアップグレードパッケージ(通常は最新)を選択し、コンピューターにダウンロードします。

注意: Windows 7 をお使いのユーザーは、弊社 Web サイトより Win7_driver をダウンロードし、インストールしてください。ドライバーのダウンロードに関する詳細は、p.66「アップグレードの開始」を参照してください。

事前準備

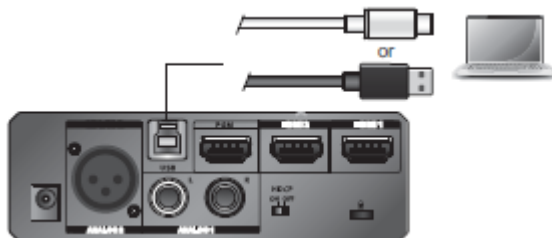
ファームウェアのアップグレードの準備をするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

1. Bluetooth リンクボタンを長押ししてください。



Bluetooth リンクボタン

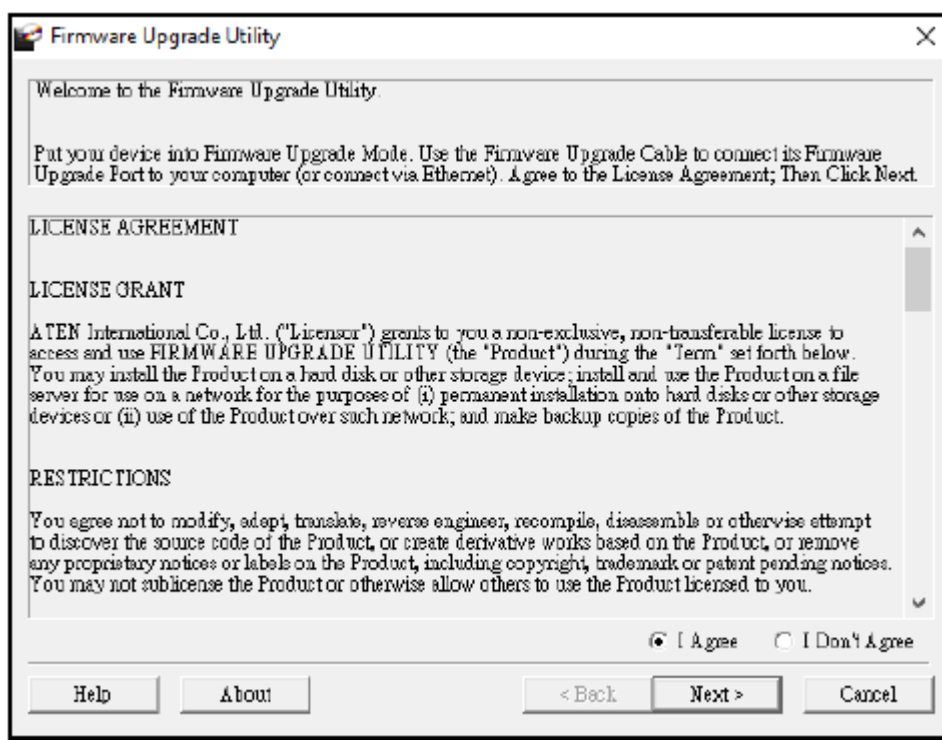
2. 手順1の状態を維持しながら、電源アダプターのケーブル部分をUC3022の電源ジャックに接続して、UC3022 本体に電源を入れてください。そうすると、フロントパネル LED が 0.5 秒おきに同時に点滅し、ファームウェアアップグレードモードが有効であることを示します。
3. USB-B UVC 出力ポートをホストに接続してください。お使いのノートパソコンに USB-A インターフェイスしかない場合は、製品パッケージに同梱されている USB-B→USB-A ケーブルを使って、ホストと USB-B UVC 出力ポートを接続してください。



アップグレードの開始

UC3022 のファームウェアをアップグレードするには、下記の手順に従って操作を行ってください。

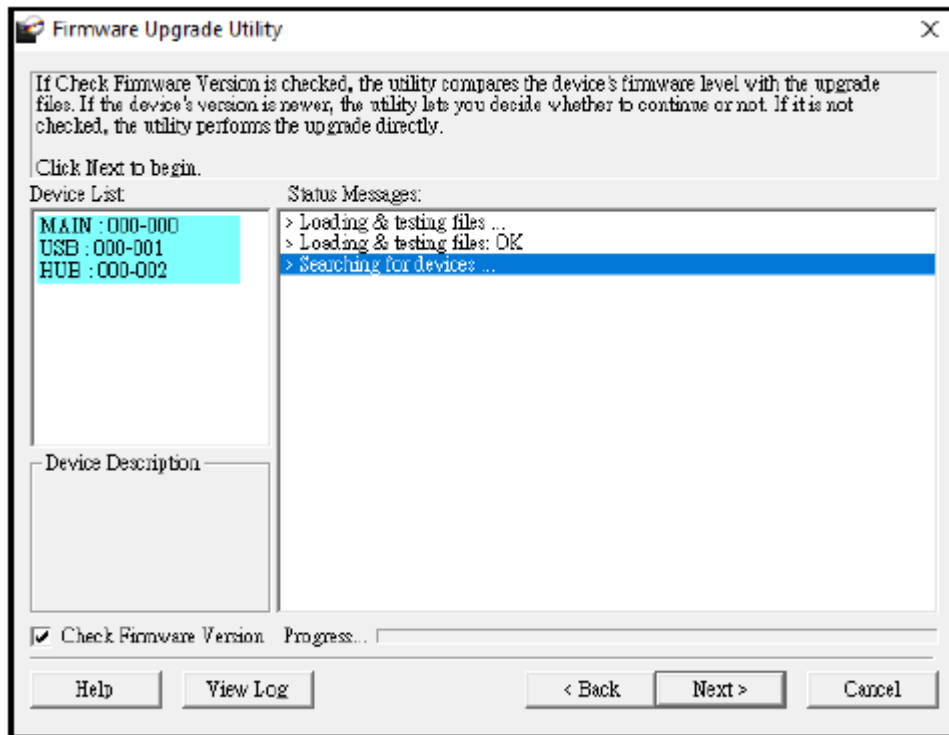
1. ファームウェアアップグレードユーティリティのパッケージのアイコンをダブルクリックして、ファイルを実行ください。
そうすると、ファームウェアアップグレードユーティリティの「Welcome」(ウェルカム)画面が表示されます。



注意: このセクションに表示される画面は参考用です。ファームウェアアップグレードユーティリティによって表示される実際の画面の表現とレイアウトは、これらの例と若干異なる場合があります。

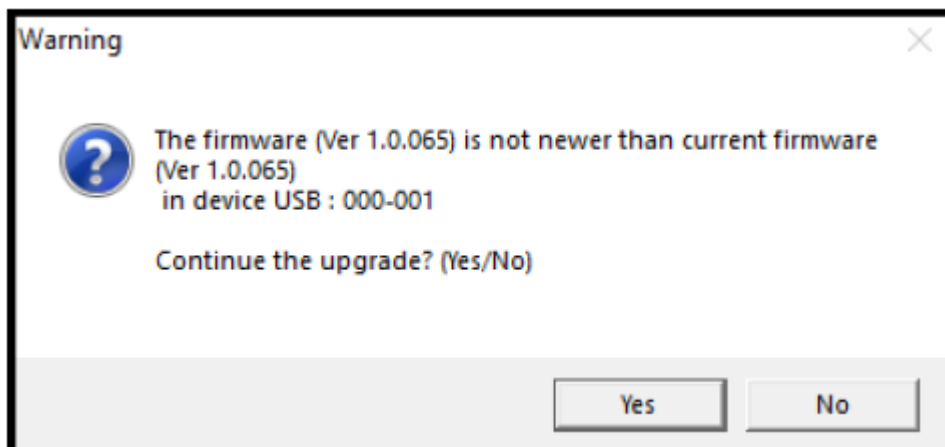
2. 使用許諾契約を読んで、「I Agree」(「同意する」)ラジオボタンをクリックしてください。

3. 「Next」(次へ)をクリックして先へ進んでください。ファームウェアアップグレードユーティリティのメイン画面が表示されます。



ユーティリティはお使いのシステムをアップグレード可能なデバイスを自動検出します。検出されたデバイスは「Device List」(デバイスリスト)パネルに表示されます。

4. 「Next」(次へ)をクリックしてアップグレードを実行します。



「Check Firmware Version」(ファームウェアバージョンを確認する)の項目を有効にした場合、ユーティリティはデバイスのファームウェアバージョンとアップグレードファイルのファームウ

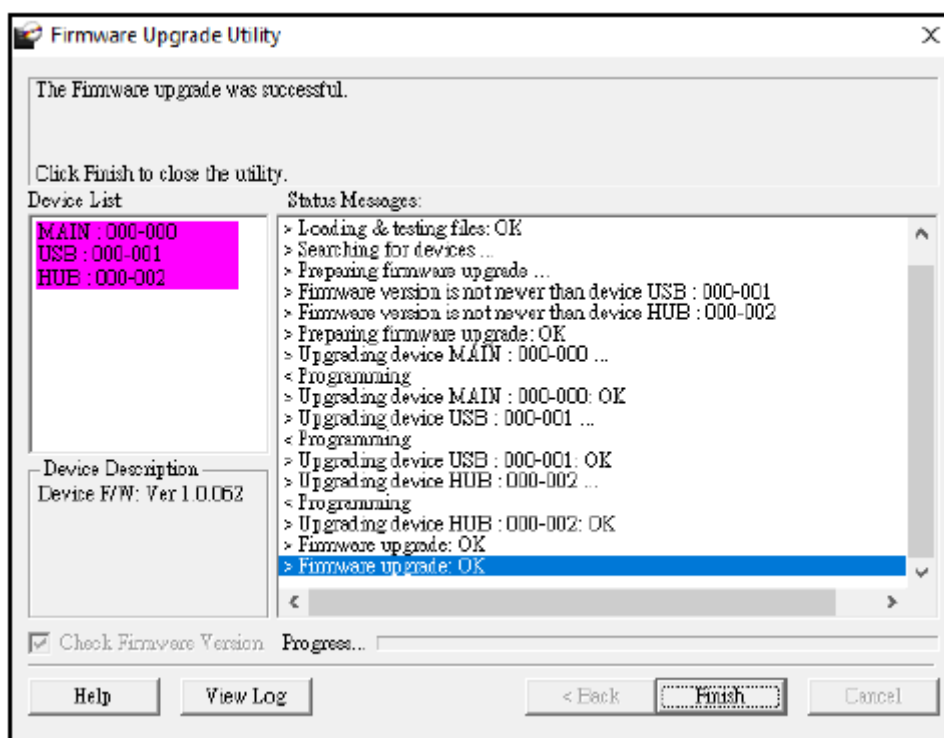
ウェアバージョンを比較します。デバイスのバージョンがアップグレードバージョンよりも新しい場合、状況を知覚するダイアログボックスが表示され、続行またはキャンセルのオプションが表示されます。

「Check Firmware Version」(ファームウェアバージョンを確認する)を有効にしなかった場合は、アップグレードファイルのバージョンにかかわらず、アップグレードファイルがインストールされます。

アップグレードの進行中は、ステータスメッセージが「Status Message」(ステータスメッセージ)パネルに、また、完了までの進行状況が「Progress」(進行状況)バーに、それぞれ表示されます。

アップグレードの成功

アップグレードが完了すると、手順が正常に完了したことを通知する画面が表示されます。



「Finish」(完了)をクリックして、ファームウェアアップグレードユーティリティを終了してください。

操作が正常に終了すると、UC3022 はファームウェアアップグレードモードを終了し、本体をリセッ

トします。

注意: Windows 7をお使いのユーザーは、弊社 Web サイトより Win7_driver をダウンロードし、インストールしてください。ドライバーのダウンロードに関する詳細は、p.64「ファームウェアアップグレードパッケージのダウンロード」を参照してください。

アップグレードの失敗

「Upgrade Succeeded」(アップグレード成功)画面が表示されない場合は、アップグレードが正常に完了しなかったことを意味します。このような場合には、次の方法で対処してください。

1. UC3022 から電源アダプターのケーブル部分を抜いて、電源を OFF にしてください。
2. 製品本体のフロントパネルにある Bluetooth リンクボタンを長押ししながら、電源アダプターを接続して、ファームウェアアップグレードモードを起動してください(p.17 参照)。そうすると、フロントパネルにある LED が同時に点滅します。
3. ファームウェアアップグレードの操作を最初からやり直してください。

付録

製品仕様

機能	UC3022
コネクタ	
ビデオ入力	HDMI Type-A メス×2 (Black)
USB ポート	USB 3.2 Gen1 Type-B オス (Blue) (製品パッケージに USB-B→USB-C ケーブルおよび USB-B→USB-A ケーブルを同梱)
ビデオ出力	HDMI Type-A メス×1 (PGM ビデオ、Black)
オーディオ入力	XLR コネクタ経由バランスアナログオーディオ×1 RCA コネクタ経由アンバランスオーディオ×1
ビデオ解像度	<p>ビデオ入力: HDMI 1.4b 対応、 720p50、720p60、1080p24、1080p25、1080p30、1080p50、1080p60、 2160p24、2160p25、2160p30</p> <p>PGM ビデオ出力: UVC キャプチャを無効にした次の解像度 720p50、720p60、1080p24、1080p25、1080p30、1080p50、1080p60 (非 HDCP)</p> <p>UVC キャプチャを無効にした次の解像度: 720p50、720p60、1080p24、1080p25、1080p30、1080p50、1080p60、 2160p24、2160p25、2160p30 (HDCP 有効)</p>
オーディオサンプリング	16 ビット PCM オーディオ、44.1KHz および 48KHz
出力	720p60 および 1080p60 の UVC ビデオストリーム (UAC audio を含む) (非圧縮のビデオストリームは USB 3.x 接続においてのみ利用可能)

(表は次のページに続きます)

機能	UC3022
動作環境	
動作温度	0～40℃
保管温度	-20～60℃
湿度	0～80% RH、結露なきこと
最小ハードウェア要件	<p>PC/Mac:</p> <p>CPU: Intel® i3 Dual Core 2.8 Ghz 以上</p> <p>RAM: 4GB 以上</p> <p>USB-C インターフェース または USB-A インターフェース</p> <p>スマートフォン*:</p> <p>UVC 対応*で USB-C インターフェースを搭載した Android スマートフォン</p> <p>* UVC 互換デバイスの詳細リストは、サードパーティ App によって公開された次の URL にてご確認ください。</p> <p>https://www.camerafi.com/supported-devices/</p>
接続	Bluetooth Low Energy (BLE) テクノロジー
対応 OS	<p>Windows 10 以降*</p> <p>Mac OS X 10.13 以降</p> <p>Android 5.x または iOS 10.1 以降</p> <p>Bluetooth Low Energy (BLE) がサポートされた Bluetooth 4.2 以降</p> <p>*Windows 7 はドライバーのインストールが必要です。</p>
消費電力	DC5V:4.4W
ケース	
ケース材料	メタル
重量	0.68 kg
サイズ(W×D×H)	130×151.8×42.5 mm
同梱品	<p>USB-B→USB-C ケーブル×1</p> <p>USB-B→USB-A ケーブル×1</p> <p>電源アダプター×1</p> <p>カメラマウントアダプターキット×1</p> <p>クイックスタートガイド×1</p>